

西郷小学校教室・特別教室棟耐震補強（建築主体）工事

【 図 面 リ ス ト 】							
図面No.	図 面 名 称	図面No.	図 面 名 称	図面No.	図 面 名 称	図面No.	図 面 名 称
A - 1	タイトル	A - 19	改修後 立面図（2）	A - 37	改修後 3階コンピュータ室平面詳細図	A - 55	改修後 各階トイレ建具表
A - 2	配置図・附近見取図	A - 20	現況 矩計図	A - 38	現況 2・3階普通教室平面詳細図	A - 56	家具図（1）
A - 3	建築工事特記仕様書（1）	A - 21	改修後 1階天井伏図	A - 39	改修後 2・3階普通教室平面詳細図	A - 57	家具図（2）
A - 4	建築工事特記仕様書（2）	A - 22	改修後 2階天井伏図	A - 40	現況 1～3階便所廻り展開図	A - 58	家具図（3）
A - 5	建築工事特記仕様書（3）	A - 23	改修後 3階天井伏図	A - 41	改修後 1階便所廻り展開図	A - 59	昇降口 部分詳細図
A - 6	建築工事特記仕様書（4）	A - 24	現況・改修後 建具表	A - 42	改修後 2・3階便所廻り展開図		
A - 7	建築工事特記仕様書（5）	A - 25	現況・改修後 1階便所廻り平面詳細図	A - 43	現況 1階昇降口展開図	C - 1	特記仕様書 その1
A - 8	仮設計画図	A - 26	現況・改修後 2階便所廻り平面詳細図	A - 44	改修後 1階昇降口展開図	C - 2	特記仕様書 その2
A - 9	内部仕上表	A - 27	現況・改修後 3階便所廻り平面詳細図	A - 45	現況 展開図（1）	C - 3	基礎伏図（補強図）
A - 10	現況 1階平面図	A - 28	現況 1階昇降口平面詳細図	A - 46	現況 展開図（2）	C - 4	2階床梁伏図（補強図）
A - 11	現況 2階平面図	A - 29	改修後 1階昇降口平面詳細図	A - 47	現況 展開図（3）	C - 5	A通軸組図（補強図）
A - 12	現況 3階平面図	A - 30	現況 1階図書室平面詳細図	A - 48	現況 展開図（4）	C - 6	B通軸組図（補強図）
A - 13	改修後 1階平面図	A - 31	改修後 1階図書室平面詳細図	A - 49	現況 展開図（5）	C - 7	A通（ - ）補強詳細図
A - 14	改修後 2階平面図	A - 32	現況 1階家庭科教室平面詳細図	A - 50	現況 展開図（6）	C - 8	A通（ - ）補強詳細図
A - 15	改修後 3階平面図	A - 33	改修後 1階家庭科教室平面詳細図	A - 51	現況 展開図（7）	C - 9	B通（ - ）補強詳細図
A - 16	現況 立面図（1）	A - 34	現況 2階音楽室平面詳細図	A - 52	現況 展開図（8）	C - 10	部材リスト - 1
A - 17	改修後 立面図（1）	A - 35	改修後 2階音楽室平面詳細図	A - 53	現況 展開図（9）	C - 11	部材リスト - 2
A - 18	現況 立面図（2）	A - 36	現況 3階コンピュータ室平面詳細図	A - 54	現況 展開図（10）		

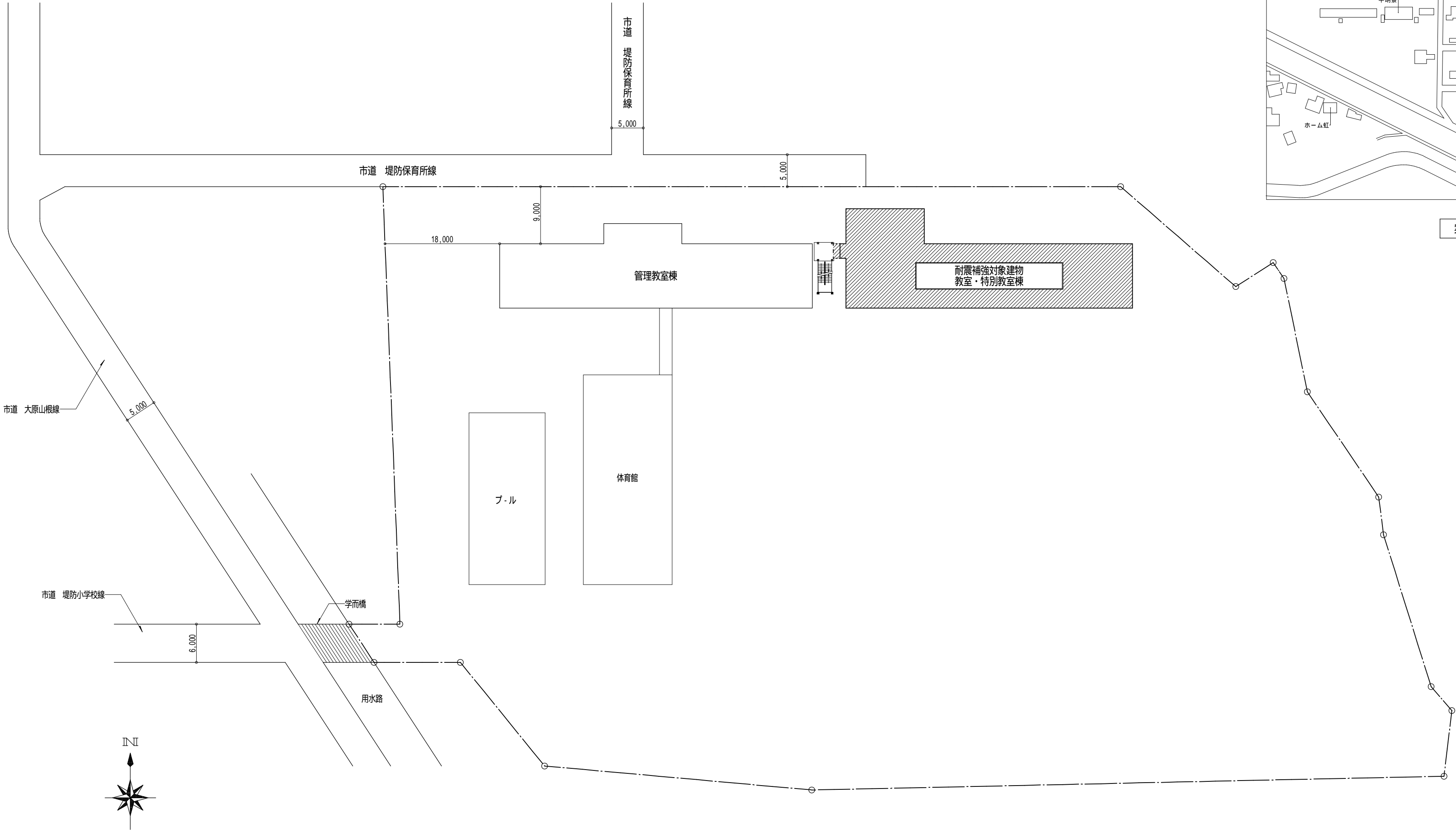
有限会社

アーク設計工房

管理教室棟耐震補強工事 概要（耐震付帯工事および改修工事を含む）	
外部	内部
1階 A通 - 、 - 耐震補強工事：鋼板内蔵コンクリート構造による耐震補強工事	老朽改修工事：既存室の内壁・建具・天井の塗装改修（一部建具取替を含む）
1階、2階 B通 - 耐震補強工事：鋼板内蔵コンクリート構造による耐震補強工事	老朽改修工事：既存室の造り付家具・黒板の取替、掲示板の改修（一部取替）
屋外付帯復旧工事：上記耐震補強工事による屋外付帯工作物の撤去・復旧	老朽改修工事：既存昇降口のバリアフリー化
老朽改修工事：既存外壁調査・補修のうえ防水形複層塗材吹付	トイレ改修工事：床・内壁・天井の改修（トイレブースを含む）
老朽改修工事：既存昇降口ポーチ軒天撤去・復旧	
老朽改修工事：既存昇降口ポーチのバリアフリー化によるスロープ等設置	



案 内 図



配 置 図 S=1:500

建築工事仕様書

工事概要

1.工事場所

倉吉市下戸

2.敷地面積

1,536.00㎡

3.地域地区

都市計画地域(○内・外)市街化調整区域

4.建物概要

番号	名称	工事種別	構造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
1	教室・特別教室棟	改修	R C造	3階	529.97	1,460.00

建築工事仕様

1.共通仕様

(1)図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（平成25年版）（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省官庁官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（平成22年版）（以下「改修標準仕様書」という。）による。（平成25年版 公共建築改修工事標準仕様書を含む）

(2)請負者は完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。

(3)電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2.特記仕様

(1)項目は番号に印のついたものを適用する。

(2)特記事項は○印のついたものを適用する。
○印のつかない場合は、印のついたものを適用する。
○印と○印のついた場合は共に適用する。

(3)項目に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表す。

(4)☒印は、「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成22年2月）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。

(5)標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.1.3）の規定を優先する。

(6)材料及び製造所等の記載は順不同である。

章

項目

特記事項

1一般共通事項

1適用基準等

○建築工事標準詳細図

国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（平成22年版）（以下「標準詳細図」という）

○建築工事監理指針（上巻・下巻）

国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（平成25年版）

○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編

建設大臣官庁官庁営繕部監修

○鉄筋コンクリート構造配筋要領、建設大臣官庁官庁営繕部監修（平成11年版）

○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）

国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（平成25年版）

○建築改修工事監理指針（上巻・下巻）

国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（平成25年版）

2官公庁その他への手続

(1.1.3)

工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする

3電気保安技術者

(1.3.3)

工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。

4工事安全計画書

(1.3.7)

建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する

5発生材の処理等

(1.3.8)

・引き渡すを要するもの（ ）

・現場において再利用を図るもの（ ）

○再生資源化を図るもの

○コンクリート塊

・アスファルトコンクリート塊

○建設発生木材

6環境への配慮

(1.4.1)

化学物質を放散させる建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1）から5）を満たすものとする

1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする

2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド又はスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする

3）接着剤はフタル酸ジ・n・ブチル及びフタル酸ジ・2・エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする

4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散がきわめて少ないものとする

5）1）、3）及び4）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする

また、設計図面に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする

ホルムアルデヒド放散量 規制対象外

該当する建築材料

J I S及びJ A SのF品

建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品

下記表示のあるJ A S適合品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用

d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

ホルムアルデヒド放散量 第三種

該当する建築材料

J I S及びJ A SのF品

建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

旧J I SのE o品

旧J A SのF c o品

1一般共通事項

1完成写真

○電子データ形式での提出[工事記録写真]

(○要・不要)

○電子データ形式での提出[完成写真]

(○要・不要)

1完成時の提出図書

(1.7.1-2)

下記のもの監督職員に提出する

・原因A1版又はA2版（設計図の第2原図訂正不可）

部

○C A Dデータ

1式

・原因図の電子複写紙の2つ折製本

2部

・原因図の縮小版の電子複写紙の2つ折製本（A4版）

部

・複写 縮小版A3バラ焼

部

完成図の種類及び内容

○案内図・配置図・面積表：配置図には外構整備、屋外給排水系統含む（B Mの表示）

○平面図：室名、完成寸法等を表示する

○立面図：外装仕上等を表示する

・断面図：階高、天井高等を表示する

○仕上表：屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

○設備図：完成配管・配線・機器等を表示する

13施工図及び施工計画書

(1.7.2)

提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に際する使用権は、発注者に移譲するものとする

14設備工事との取り扱い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける

設備工事との取り扱い	建築	電気	機械
・コンクリート壁、床、梁貫通部	補強 スリーブ・箱入れ		
・鉄骨造の開口及び補強			
・照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（釘処理共）			
・軽量鉄骨壁のボックス取付用下地			
・埋込分電盤・端子盤・フルボックスの	仮枠		
仮枠及び埋込部分の補強	補強		
・O Aフロア・フリーアークセフロアの切込み及び補強			
・埋込型機器取付用の天井	切込		
壁の切込加工、下地の補強	補強		
・自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローゼ、フロアヒンジ			
・電気室、自家発電室などの基礎及びピット（墓を含む）			
・テレビアンテナ	基礎 アンカーボルト		
・天井点検口			
・機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋上設備		

15設計G L

図示による○（1F、L=600）

16耐荷重及び耐外力

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 V o = m / s
地表面粗度区分
積雪区分 建設省告示第1455号 別表（ ）

17安全に関する資料

(1.7.3)

下記のもの「J I S A 4版ファイルに製本して監督職員に提出する。

○主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表

○機器性能試験成績書及び取扱説明書

○保証書

○官公署届出書類（保守に必要とするもの）

○建築物の保守に関する説明書、指導案内書

・

19火災保険等

工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する（保険の加入期間は、工事完成引き渡しまでとする）

19環境配慮

鳥取県公共工事環境配慮指針 対象工事・非対象工事

20建設リサイクル法

対象工事・非対象工事

21鳥取県福祉のまちづくり条例

対象工事・非対象工事

22鳥取県景観形成条例

対象工事・非対象工事

23バリアフリー法

対象工事・非対象工事

24省エネ法

対象工事・非対象工事

2仮設工事

1足場その他

(2.2.4)

監督職員事務所

(2.3.1)

表示板

3土工用水

土工用電力

土工用仮設備

工事現場のイメージアップ

3十二工

1埋戻し及び盛土

(3.2.3)

埋戻し土 種別・A種・B種・C種・D種 表3.2.1

・建設汚泥から再生した処理土☒
D種の場合には必要に応じて「セメント及びセメント系固着剤を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う

盛土 種別・A種・B種・C種・D種

・建設汚泥から再生した処理土☒
D種の場合には必要に応じて「セメント及びセメント系固着剤を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う

2建設発生土の処理

(3.2.5)

構内指示の場所に処分・自由処分

○構内指示場所に敷き出し・構内指示場所に堆積

4地盤工事

1共通仕様

(4.2.2)
(4.2.4)

試験杭（ ）本 位置は構造図による

地盤の平板載荷試験 行わない

・行う（ ）箇所

位置、深さ、対象地盤及び最大載荷荷重は構造図による

試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による

2既製コンクリート杭地盤

(4.3.2-7)

材料

速心力高強度プレストレストコンクリート杭（P H C杭）

・外殻鋼管付きコンクリート杭（S C杭）

・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（P R C杭）

	符号	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	継手数	本数	コンクリート強度（N / m m ² ）	長期設計支持力（k N / 本）	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭					
本杭			上杭 中杭 下杭					

S C杭の鋼管・S K K 4 0 0・S K K 4 9 0・S T K 4 0 0・S T K 4 9 0
S C杭の板厚 構造図による
P H C杭の種別・A種・B種・C種
P R C杭の種別・種・種・種・種
なお、特定埋込杭工法における杭材料はJ I S又は認定条件に適合するものとする

先端部形状 開放形・閉そく平たん形
ネガティブフリクション対策 不要・要（構造図による）

杭の継手・溶接継手
・機械式無溶接継手（建築基準法に基づき評定等を受けたもの）
機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う
施工は評定等に記された施工管理基準による

杭頭の処理 切断しない
杭頭の中詰材料 コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）
支持地盤 構造図による

施工方法 特定埋込み杭工法・セメントミルク工法
・H 1 3国交告1 1 1 3号第6による支持力算定式で = 2 5 0 程度を採用できる工法
・H 1 3国交告1 1 1 3号第6による支持力算定式で = 、 = 、 = を採用できる工法
工法・プレボリング拡大根固め工法・中掘り拡大根固め工法
杭周固定液の使用・する・しない

杭の精度 水平方向の位置ずれ・杭径の1 / 4 かつ1 0 0 mm以下
杭の傾斜・1 / 1 0 0・評定条件または認定条件による

ARCH 有限会社 ア - ク設計工房

TEL 0858-47-0058
FAX 0858-47-0068

TITLE

西郷小学校教室・特別教室棟耐震補強（建築主体）工事

管理建築士 一級建築士 第168668号 藤原 賢治

建築工事特記仕様書（1）

NO. A-3

DRAWING NO. 2013,11

9

防水工事

1

アスファルト防水
(9.2.2-5)

表9.2.3-6

種類	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護
・ A - 1		<div>押出法 3種b スキン層付 厚さ 25mm・50</div>	<div>乾式保護材 ・ カウチ+押入</div>	
・ A - 2				
・ B - 1				
・ B - 2				
・ A I - 1		<div>押出法 3種b スキン層付 厚さ 25mm・50</div>	<div>70g / m²程度</div>	
・ A I - 2				
・ B I - 1				
・ B I - 2				

断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること

屋根保護防水断熱工法の断熱材（オゾン層破壊物質を含まないもの。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること） [G]
材質 押出法ポリスチレンフォーム3種b スキン層付（JIS A9511）
厚さ 25mm
防水立上り部の保護
乾式保護材
無石綿繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレープ発生したもの（窯業系パネル）とし、寸法は図示による
品質・性能等
寸法の許容差 厚さ：-5～+10％、幅：±1％
曲げ強さ、曲げモーメント（N・cm）（スパン50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント）標準時45.0以上、凍結融解完了時（試験サイクル数）320以上（200）耐凍結融解性能（試験サイクル数：上記）試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと
吸水性（20％以下） 吸水による長さ変化率（0.07％以下）
耐火性能 不燃
耐衝撃性 高さ1.0mから試験体の弱点部に500gのおもりを落としたとき、裏面に達する穴があかないこと
出荷時の含水率 10％以下
・ れんが

表9.2.7

種類	施工箇所	種類	施工箇所
・ D - 1		・ D - 2	

表9.2.8

種類	施工箇所	種類	施工箇所
・ E - 1		・ E - 2	

保護層 ・ 設ける（図示）

表9.3.1

工程による種類	施工箇所	改質アスファルトシート	種類	厚さ（mm）
・ AS - 1		下層用	非露出複層防水用R種	2.5mm以上
		上層用	露出複層防水用R種	3.0mm以上
・ AS - 2			露出単層防水用R種	4.0mm以上

表9.4.1

防水層の種類	種類	施工箇所	ルーフingシートの厚さ（mm）	絶縁用シートの材種	仕上塗料
・ S - F 1			1.2		・ カラー ・ シルバー
・ S - F 2			2.0		
・ S - M 1			1.5	発泡Rイソシート	・ カラー ・ シルバー
・ S - M 2			1.5		
・ S - M 3			1.2	発泡Rイソシート	

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			
・ Y - 1		地下外壁防水	
・ Y - 2		屋内防水	Y - 2の保護層 ・ 設ける

表9.5.1-2

防水層の種類	種類	施工箇所	備考
・ X - 1			仕上塗料塗り ・ カラー
・ X - 2			

15

左官工事

7

仕上り塗材仕上 (15.5.2)

・ 複層仕上塗材

種類	仕上りの形状	工法	上塗材 (耐水性 耐候形 3 種)		
複層塗材 E	凹凸模様	吹付け	水系	アクリル系	つやあり
・ 凹凸形複層塗材 E	凹凸模様	吹付け	水系	アクリル系	つやあり
・ 凸部処理	ローラー	・ 溶剤系	ポリウレタン系	・ つやなし	
・ 複層塗材 Si	・ ゆず肌状	・ 弱溶剤系	アクリルシリコン系	・ メタリック	
・ 複層塗材 C E			・ フッ素系		
・ 複層塗材 R E			・ シリカ系		
・ 複層塗材 R S					
・ 防水形複層塗材 C E					
・ 防水形複層塗材 E					
・ 防水形複層塗材 R E					
・ 防水形複層塗材 R S					

・ 軽量骨材仕上塗材

種類	仕上りの形状	工法
・ 吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け
・ こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定 屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量

規制対象外 第三種

厚さ (mm) ・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 30 ・

ロックウール吹付け (15.7.1-4)

16

建具工事

1

アルミニウム製建具 (16.2.2-4)

外部に面する建具の性能等級等

種別	A 種	B 種	C 種
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6
気密性	A - 3	A - 4	A - 4
水密性	W - 4	W - 5	W - 5
特見込み (mm)	70	100	100
表面処理	B - 1 種	B - 2 種	
	(アンバー ・ ブロンズ ・ ステンカラー ・ ブラック)		
防音ドアセット ・ 防音サッシの遮音性の等級	T - 1	T - 2	T - 3
断熱ドアセット ・ 断熱サッシの断熱性の等級	H - 1	H - 2	H - 3
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級			
網戸等			
種類	材種	線径	網目
・ 防虫網	・ 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製 (SUS 3 1 6)	0 . 2 5 mm 以上	1 6 - 1 8 メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス製 (SUS 3 0 4) 線材	1 . 5 mm	網目寸法 ピッチ 1 5 mm

外部に面する建具以外の表面処理 C - 1 種又は B - 1 種

外部に面する建具の耐風圧性の等級 S - 4 | S - 5 | S - 6 |

防音ドアセット ・ 防音サッシの遮音性の等級 T - 1 | T - 2 | T - 3 |

断熱ドアセット ・ 断熱サッシの断熱性の等級 H - 1 | H - 2 | H - 3 |

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 | | |

防火戸 煙感知器連動とする 防火戸の解錠機構は別途とする

扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

戸の網板

表面処理亜鉛めっき鋼板 | | |

・ ビニル被覆鋼板 | | |

・ カラー鋼板 | | |

表16.4.1

区分

材質

召合わせ、縦小口包み板

鋼板 ・ ステンレス ・ アルミニウム

扉の表面材、押縁

鋼板 ・ ビニル被覆鋼板

種類

鋼板 (くつずりはステンレス) ・ 製作所仕様

4

ステンレス製建具 (16.5.3)

外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 | S - 5 | S - 6 |

防音ドアセット ・ 防音サッシの遮音性の等級 T - 1 | T - 2 | T - 3 |

断熱ドアセット ・ 断熱サッシの断熱性の等級 H - 1 | H - 2 | H - 3 |

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 | | |

ステンレス鋼板 (屋外) SUS 4 3 0 J 1 L ・ SUS 3 0 4

ステンレス鋼板 (屋内) SUS 4 3 0 ・ SUS 4 3 0 J 1 L ・ SUS 3 0 4

表面仕上げ H L 仕上げ | | |

曲げ加工 普通仕上 ・ 角出し曲げ (a 角 ・ b 角 ・ c 角)

5

木製建具 (16.6.2)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

規制対象外 第三種

ふすまの材料 種別

表16.6.3の型

上張り紙

ビニル紙 ・ 新鳥の子

押入等の裏側

雲花紙

縁仕上

・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリアー塗装)

特及びくつずり材料

図示による

6

鍵 (16.7.4)

マスターキー

製作する (2 組) ・ 製作しない

鍵箱

・ 設ける (組用 組) ・ 設けない

7

自動ドア開閉装置 (16.8.2-3)

センサーの種類

表16.8.1-3

光線 (反射) ・ マット ・ 熱線 ・ 音波 ・ 光電

電波 ・ タッチ ・ 押しボタン ・ ベダル ・ 多機能便所

取付け位置

床面 天井面 ・ 壁面 ・ 無目

凍結防止措置

行わない ・ 行う (適用箇所は建具表による)

8

自閉式上吊り引戸装置 (16.9.3)

自閉式上吊り引戸装置の性能

表16.9.1による

9

重量シャッター (16.10.2)

種類

一般 ・ 外壁用防火 ・ 屋内用防火 ・ 屋内用防煙

防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置とし、運動制御及び、

煙感知器は別途とする

耐風圧強度

一般 () N / m² 外壁用 () N / m²

開閉機能による種類

上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式

シャッターケース (防火、防煙以外) 設ける ・ 設けない

表16.10.1

16

建具工事

10

軽量シャッター (16.11.2-4)

開閉形式

手動 ・ 上部電動式 (手動併用)

表16.11.1

耐風圧強度 () N / m²

スラットの材質

J I S G 3 3 1 2 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) 又は J I S G 3 3 1 8 (塗装溶融亜鉛 - 5 %アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)

スラットの形状

シャッターケース

インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形

設ける ・ 設けない

ガイドレールの材質

ステンレス製 (SUS 3 0 4) 厚さ 1 . 5 mm (中柱共)

底板 (屋外の場合)

ステンレス製既製品 ・

セクション材料による区分

スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ

耐風圧性能

・ 5 0 0 P a ・ 7 5 0 P a ・ 1 0 0 0 P a

・ 1 2 5 0 P a ・ 1 7 0 0 P a

開閉形式による区分

バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式

収納形式による区分

スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーテカル形

ガイドレールの材質

溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス製 (SUS 3 0 4) 厚さ 2 . 0 mm

11

オーバーヘッドドア (16.12.2-3)

・ 合わせガラス

品 種	構成種類	性 能	
フロート合わせガラス	フロート板合わせガラス	・ 類	
	・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス		
・ 網入合わせガラス	・ 網入り、フロート板合わせガラス	・ 1 類 ・ 2 類	
	・ 網入り、熱線吸収板合わせガラス	・ 類	
・ 強化ガラス			
材料板ガラスによる種類	種 類	性 能	
フロートガラス	フロート強化ガラス	・ 類 ・ 類	
	・ 熱線吸収強化ガラス		
・ 型板ガラス	型板強化ガラス		
・ 複層ガラス			
品 種	断熱性	日射遮へい性	
・ 断熱複層ガラス	・ 1 種	U 1	
	・ 2 種	U 2	
	・ 3 種	・ U - 3 - 1 ・ U - 3 - 2	
・ 日射熱遮へい複層ガラス	・ 4 種	E 4	
	・ 5 種	E 5	
・ 熱線反射板ガラス			
品 種		色 調	
熱線反射ガラス		・ ブルー ・ グレー	
・ 高性能反射板ガラス		・ ブロンズ ・ シルバー	
品 種	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
熱線反射ガラス	・ 1 種	A 種	
・ 高性能反射板ガラス	・ 2 種	A 種 ・ B 種	
	・ 3 種	B 種	
反射皮膜面	内面 ・ 外面		
映像調整	行わない ・ 行う		
・ 倍強度ガラス			
材料板ガラスによる種類の名称		色 調	
倍強度ガラス			
・ 倍強度熱線吸収ガラス		・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ ・	
名 称	種類	張り面	性能値
ガラス飛散防止フィルム	第 2 種	内張り ・ 外張り	飛散防止率 D 1
・			
支点間距離 (h)	耐風圧性能	状態	
4 m 以下	たわみ量が a (1 / 1 5 0) x h かつ絶対量 2 0 mm 以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと	
4 m を超える			
建築物の構造種別	層間変位量 (h = 支点間距離)	変位後の状態	
鉄骨造	± (1 / 2 0 0) x h 以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと	
鉄筋コンクリート造	・ ± (1 / 3 0 0) x h 以上	部材に有害な歪みが起こらないこと	
鉄骨鉄筋コンクリート造		・ シーリングは補修程度の損傷であること	

ARCH

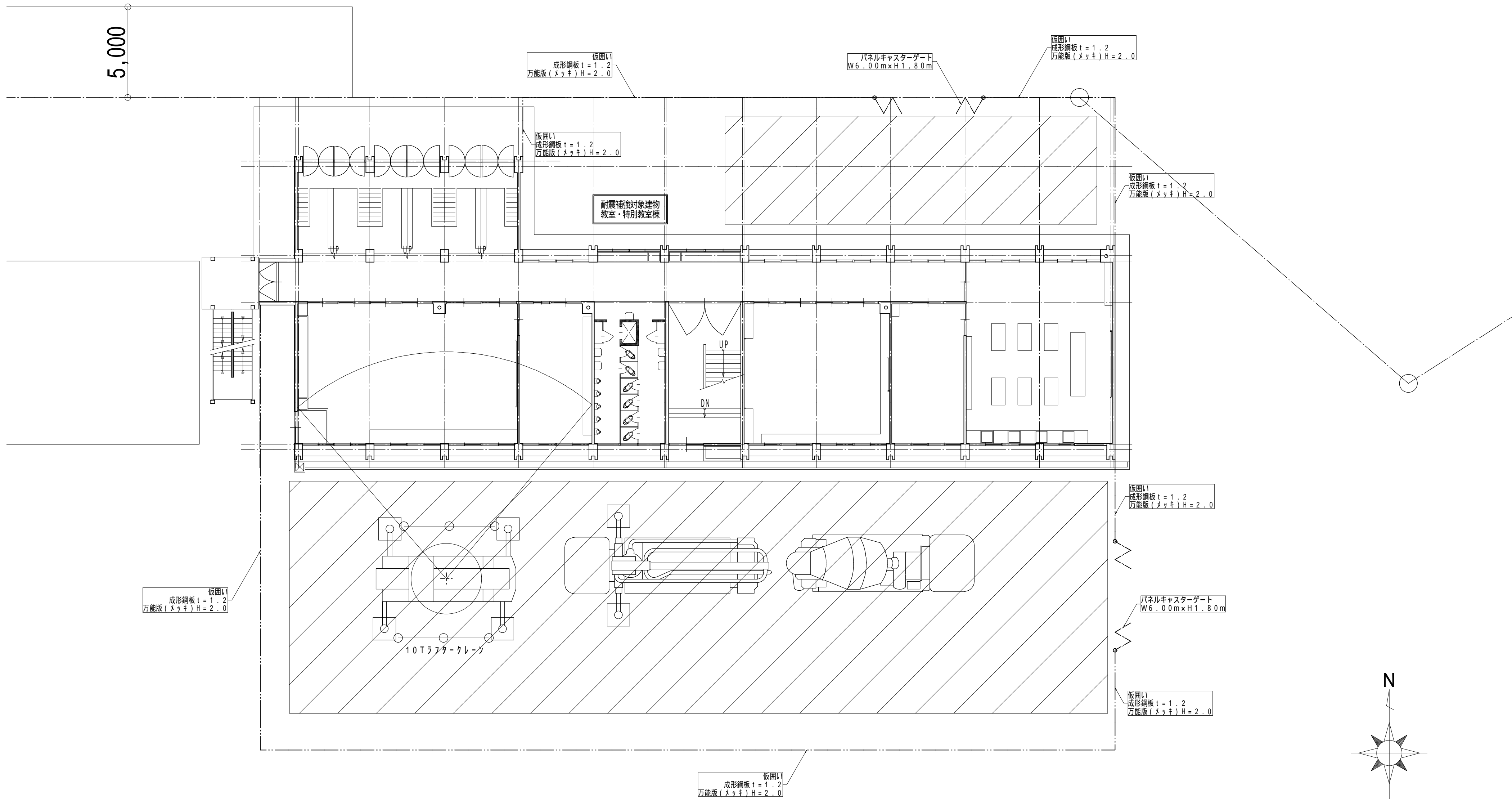
有限会社 ア - ク設計工房
TEL 0858-47-0058
FAX 0858-47-0068

西郷小学校教室・特別教室棟耐震補強 (建築主体) 工事

建築工事特記仕様書 (4)

管理建築士 一級建築士 第168668号 藤原 賢治
A-6
2013.11

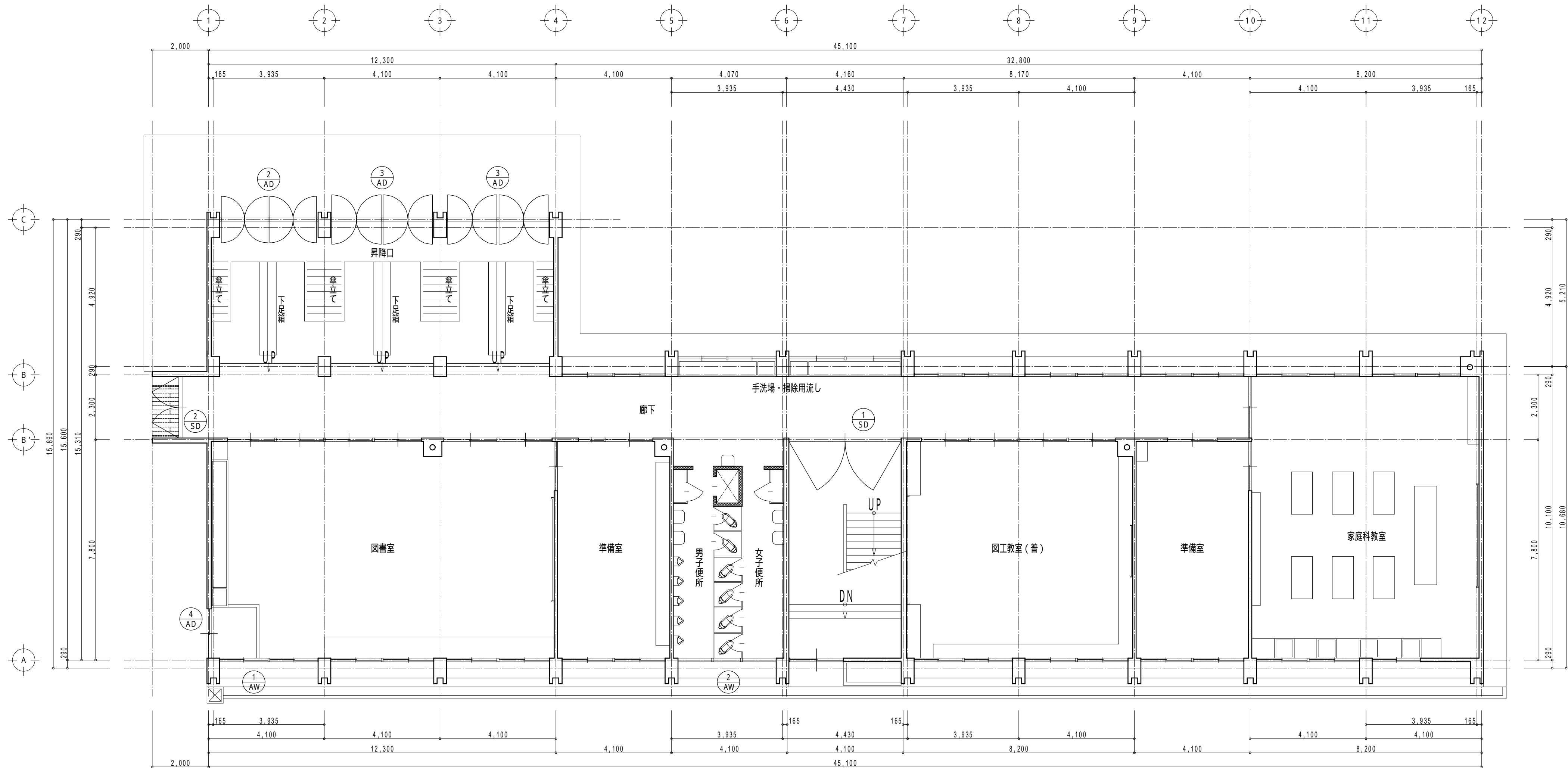
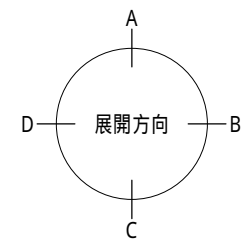
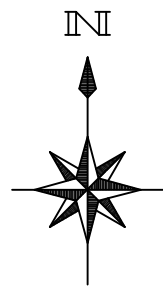
[illegible]



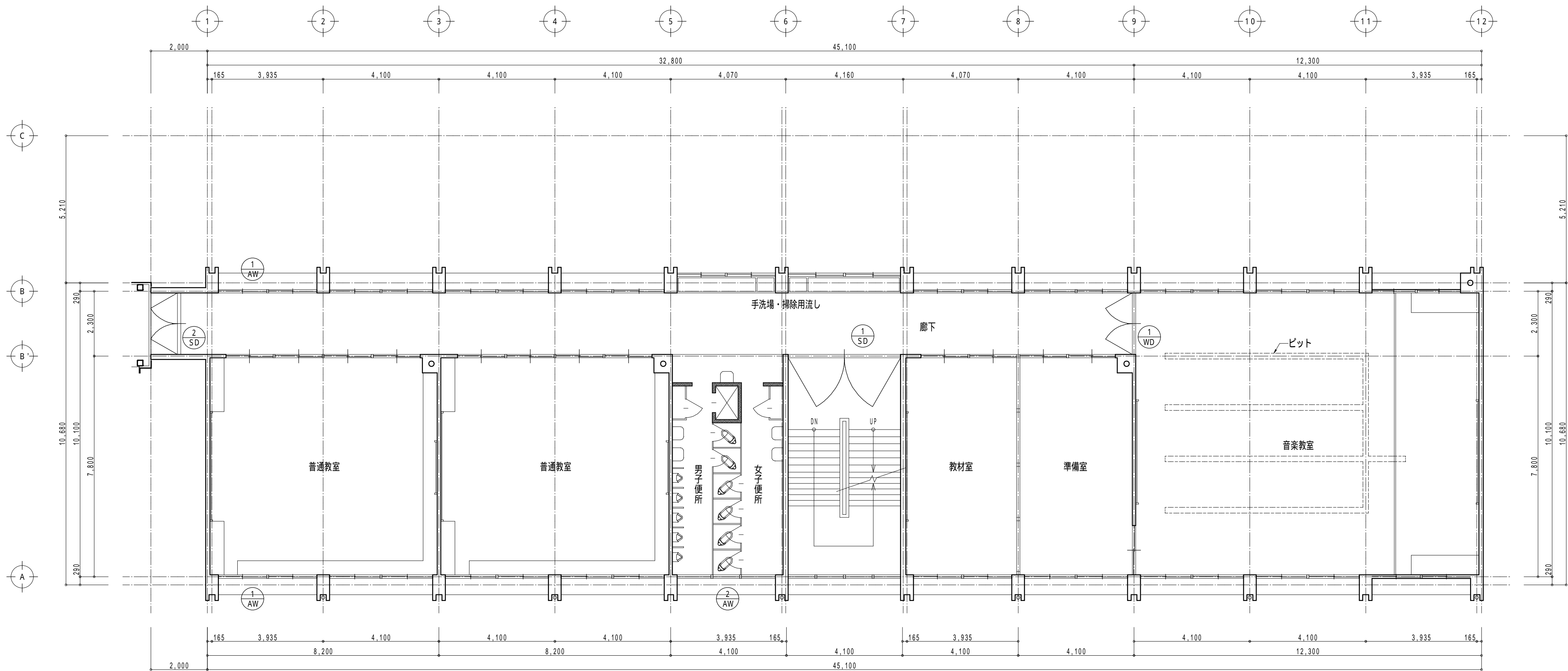
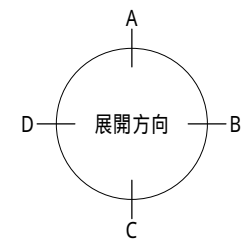
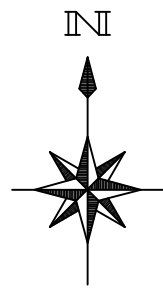
仮設計画面図 S=1:150

階	室 名		床	巾木	壁・柱型	天井・梁型	廻り縁	天井高	備 考
1	現況	昇降口	モルタル塗金こて仕上 3 0 t 一部：アートの壁	人造石研出し 一部ソフト幅木 H = 1 0 0	モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗 木部 S O P 塗	ロックウール吸音板 1 2 t、石こうボード 9 t 下地	塩ビ製	3 , 1 0 0 ~ 3 , 2 1 0	撤去家具 下足入れ: W3300×D600×H1650 3ヶ所 既存卓立て撤去 スチールパイプ 60、30 5ヶ所 壁面撤去部(取付PL共):モルタル補修 新設家具 下足入れ: W2085×D300×H1850 12ヶ所(2連続) 新設卓立て 柱柱: 60、5(SUS304・ZDC、研磨・アクリル板付塗装) レール: 34(SUS304、研磨) 3ヶ所
	改修後	＂	磁器質 1 0 0 角タイル張り 下地:土間コンクリート新設	ソフト幅木 H = 1 0 0	下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種)	下地調整 R B 種のうえ EP 塗り (B 種)	現況のまま	＂	
1	現況	図書室	タイルカーベット敷き 撤去・処分 下地調整	ソフト幅木 H = 1 0 0	モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗 木部 S O P 塗	ロックウール吸音板 1 2 t、石こうボード 9 t 下地	塩ビ製	3 , 0 0 0	撤去家具 作業台: W4000×D600×H700 2ヶ所 既存黒板撤去 (W3600×H1200)、既存掲示板撤去 (W5000×H1000、W2000×H1200) 新設書架・掃除員入 家具図による 新設掲示版: 西面 W7650×H1200、東面 W5640×H1200
	改修後	＂	塩ビシート 2 t 張 (ノンワックスリユーム程度) 一部: コンクリート打のうえモルタル塗下地	一部新設 ソフト幅木 H = 1 0 0	モルタル部: 下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種) 木部: 下地調整 R B 種のうえ S O P 塗り (工 程 B 塗料 1)	下地調整 R B 種のうえ EP 塗り (B 種)	現況のまま	＂	
1	現況	図書準備室	塩ビシート 2 . 0 t (マーブル)	ソフト幅木 H = 1 0 0	モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗 木部 S O P 塗	ロックウール吸音板 1 2 t、石こうボード 9 t 下地	塩ビ製	3 , 0 0 0	撤去家具 造り付け欄: W6000×H2000×D500 1ヶ所
	改修後	＂	現況のまま	現況のまま	モルタル部: 下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種) 木部: 下地調整 R B 種のうえ S O P 塗り (工 程 B 塗料 1)	下地調整 R B 種のうえ EP 塗り (B 種)	現況のまま	＂	新設造り付け欄 家具図による
1	現況	図工教室	塩ビシート 2 . 0 t (マーブル)	ソフト幅木 H = 1 0 0	モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗 木部 S O P 塗	ロックウール吸音板 1 2 t、石こうボード 9 t 下地	塩ビ製	3 , 0 0 0	撤去家具 ロッカー W6000×D400×H1060 1ヶ所 掃除道具収納 W640×D400×H1400 1ヶ所 黒板撤収 W1695×D495×H1200 1ヶ所 新設家具 生徒用ロッカー (K - 1) W6000×D440×H1100 1ヶ所 ストープ、白衣収納 (K - 2) W1200×D600×H1200 1ヶ所 掃除道具収納 (K - 3) W600×D550×H1900 1ヶ所
	改修後	＂	現況のまま	現況のまま	モルタル部: 下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種) 木部: 下地調整 R B 種のうえ S O P 塗り (工 程 B 塗料 1)	下地調整 R B 種のうえ EP 塗り (B 種)	現況のまま	＂	
1	現況	家庭科室	フローリングブロック張り 一部:土間コンクリート撤去 (土間配管部)	ソフト幅木 撤去・処分	モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗 木部 S O P 塗	ロックウール吸音板 1 2 t、石こうボード 9 t 下地	塩ビ製	3 , 0 0 0	撤去家具 東面収納棚 W2430×D420×H1505 1ヶ所 新設家具 東面収納棚 W2430×D420×H1505 1ヶ所 既存家具 O S 室 (基地) 付物棚除去 西面オープン棚 W4300×D300×H1000 1ヶ所 既存入新渡し 入新き部分 研ぎ直し
	改修後	＂	塩ビシート 2 t 張 (ノンワックスリユーム程度) 一部: コンクリート打のうえモルタル塗下地	新設 ソフト幅木 H = 1 0 0	モルタル部: 下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種) 木部: 下地調整 R B 種のうえ S O P 塗り (工 程 B 塗料 1)	下地調整 R B 種のうえ EP 塗り (B 種)	現況のまま	＂	
1	現況	家庭科準備室	塩ビシート 2 . 0 t (マーブル)	ソフト幅木 H = 1 0 0	モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗 木部 S O P 塗	ロックウール吸音板 1 2 t、石こうボード 9 t 下地	塩ビ製	3 , 0 0 0	
	改修後	＂	現況のまま	現況のまま	モルタル部: 下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種) 木部: 下地調整 R B 種のうえ S O P 塗り (工 程 B 塗料 1)	下地調整 R B 種のうえ EP 塗り (B 種)	現況のまま	＂	
1	現況	女子便所	モザイクタイル張り	1 0 0 角タイル H = 1 0 0 撤去・処分	腰: 下地 R C 部 1 0 0 角タイル H = 1 3 0 0 撤去 下地 C B 1 0 0 t 部 下地共 撤去 上部: モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗り 木部: S O P 塗り 腰: 1 0 0 角タイル H = 1 3 0 0、ボード面: 接着、モルタル面: 圧着 上部: モルタル部: 下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種)、一部モルタル塗下地 木部: 下地調整 R B 種のうえ S O P 塗り (工 程 B 塗料 1)	アスベストラックス 6 t 張り + VP 塗	塩ビ製 撤去	2 , 7 0 0 ~ 3 , 1 0 0	既存トイレブース・掃除員入れ撤去 既存 P S 部コンクリートブロック 1 0 0 t・ライニング部コンクリートブロック 1 0 0 t 撤去
	改修後	＂	塩ビシート 2 t 張り (N S トワレ程度) モルタル下地 コンクリート 1 0 0 t (D 1 0 @ 3 0 0 クロス)	1 0 0 角タイル H = 1 0 0 撤去・処分	腰: 下地 R C 部 1 0 0 角タイル H = 1 3 0 0 撤去 下地 C B 1 0 0 t 部 下地共 撤去 上部: モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗り 木部: S O P 塗り 腰: 1 0 0 角タイル H = 1 3 0 0、ボード面: 接着、モルタル面: 圧着 上部: モルタル部: 下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種)、一部モルタル塗下地 木部: 下地調整 R B 種のうえ S O P 塗り (工 程 B 塗料 1)	既存撤去処分のうえ 化粧石こうボード (ジブトーン) 9 . 5 t 軽量鉄骨天井下地組 (1 9 型) 下地調整	新設 塩ビ製	3 , 0 0 0	トイレブース 新設 (別図参照) ライニング部天板 花こう岩 (本磨き) : 2 0 x 1 2 0 ~ 1 5 0 程度
1	現況	男子便所	モザイクタイル張り	1 0 0 角タイル H = 1 0 0 撤去・処分	腰: 下地 R C 部 1 0 0 角タイル H = 1 3 0 0 撤去 下地 C B 1 0 0 t 部 下地共 撤去 上部: モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗り 木部: S O P 塗り 腰: 1 0 0 角タイル H = 1 3 0 0、ボード面: 接着、モルタル面: 圧着 上部: モルタル部: 下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種)、一部モルタル塗下地 木部: 下地調整 R B 種のうえ S O P 塗り (工 程 B 塗料 1)	アスベストラックス 6 t 張り + VP 塗	塩ビ製 撤去	2 , 7 0 0 ~ 3 , 1 0 0	既存トイレブース・掃除員入れ撤去 既存 P S 部コンクリートブロック 1 0 0 t・ライニング部コンクリートブロック 1 0 0 t 撤去
	改修後	＂	塩ビシート 2 t 張り (N S トワレ程度) モルタル下地 コンクリート 1 0 0 t (D 1 0 @ 3 0 0 クロス)	1 0 0 角タイル H = 1 0 0 撤去・処分	腰: 下地 R C 部 1 0 0 角タイル H = 1 3 0 0 撤去 下地 C B 1 0 0 t 部 下地共 撤去 上部: モルタル塗金こて仕上 2 5 t + VP 塗り 木部: S O P 塗り 腰: 1 0 0 角タイル H = 1 3 0 0、ボード面: 接着、モルタル面: 圧着 上部: モルタル部: 下地調整 R B 種のうえ EP - G 塗り (B 種)、一部モルタル塗下地 木部: 下地調整 R B 種のうえ S O P 塗り (工 程 B 塗料 1)	既存撤去処分のうえ 化粧石こうボード (ジブトーン) 9 . 5 t 軽量鉄骨天井下地組 (1 9 型) 下地調整	新設 塩ビ製	3 , 0 0 0	トイレブース 新設 (別図参照) ライニング部天板 花こう岩 (本磨き) : 2 0 x

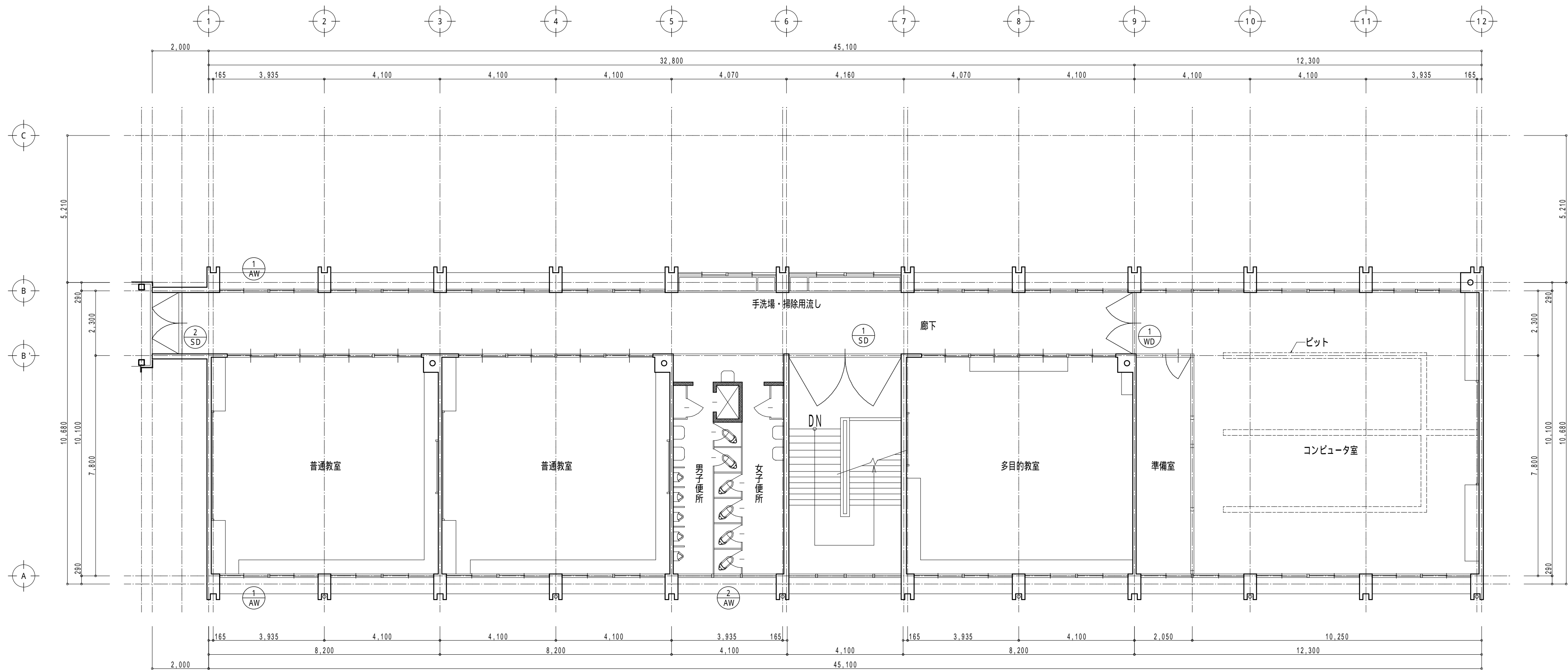
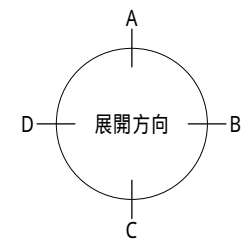
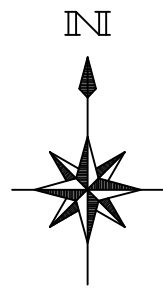
<div><div>ARCH</div><div>有限会社 ア - ク設計工房</div><div>TEL 0858-47-0058 FAX 0858-47-0068</div></div>		TITLE 西郷小学校教室・特別教室棟耐震補強（建築主体）工事		管理建築士 一級建築士 第168668号 藤原 賢治		NO. A - 9
		内 部 仕 上 表	S	HEAD 藤原	CHECK 藤原	DRAW 藤原



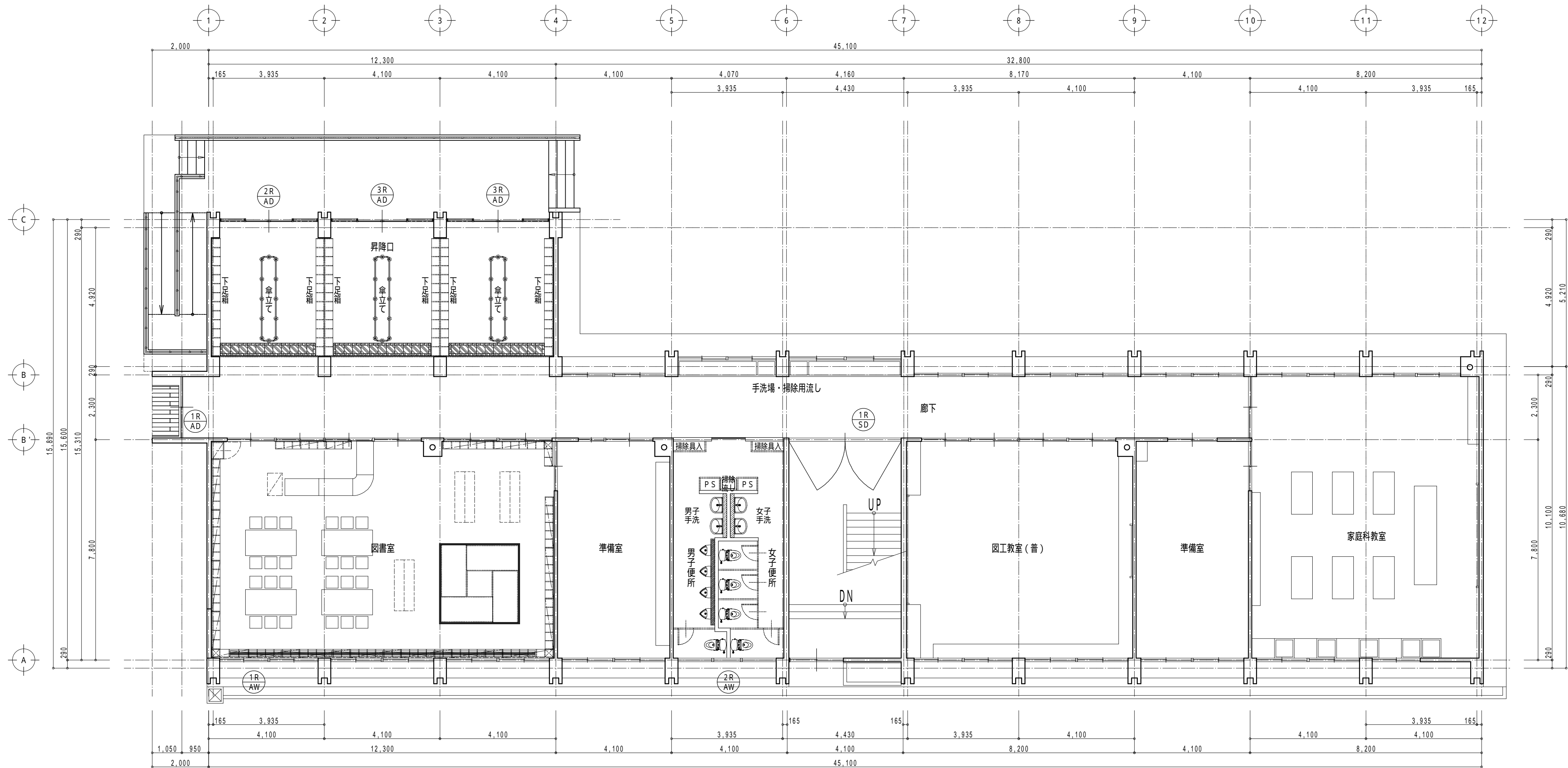
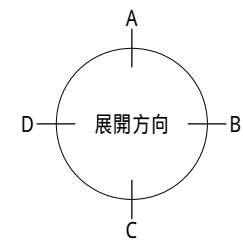
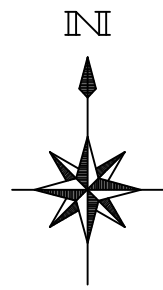
現況 1階平面図 S=1:100



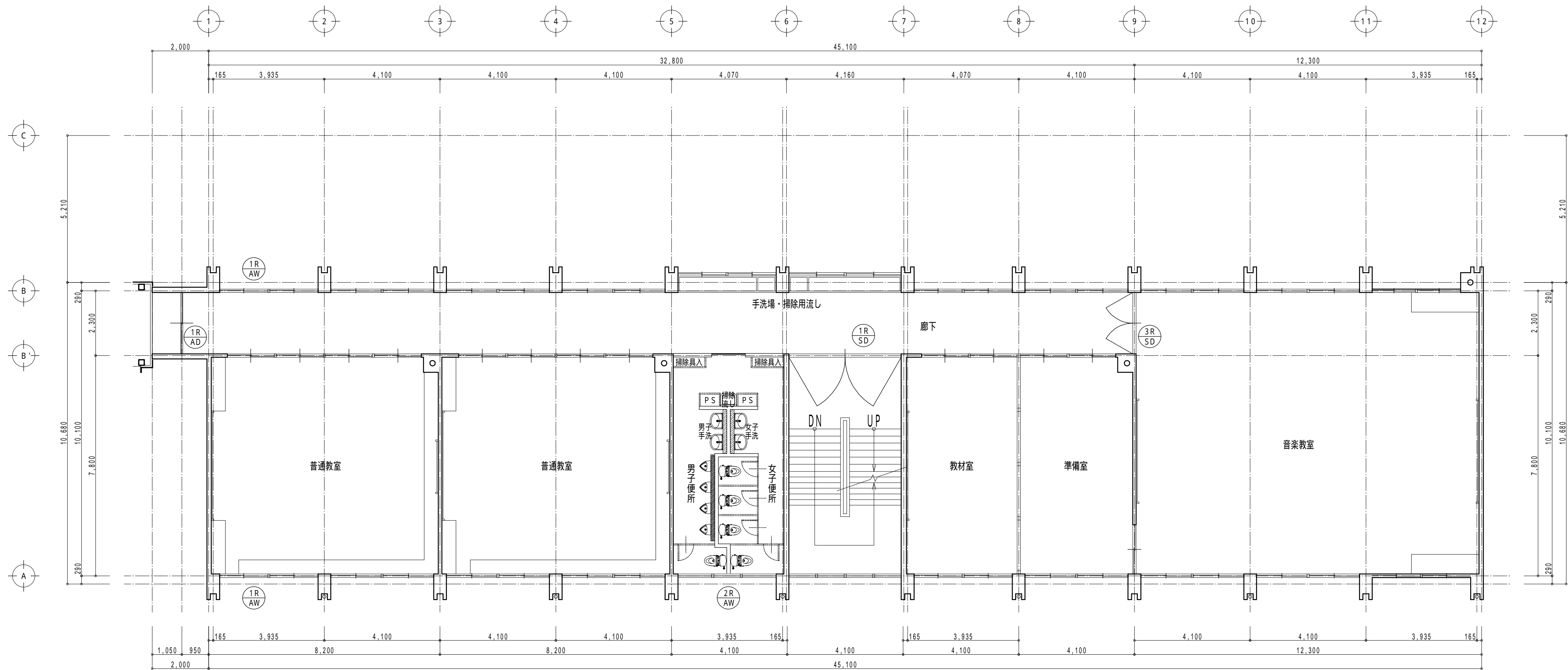
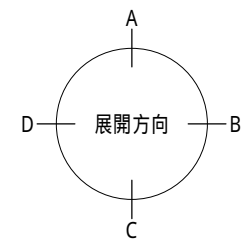
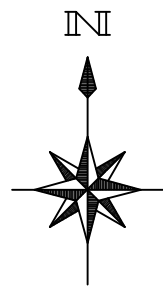
現況 2階平面図 S=1:100



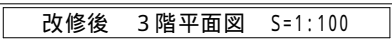
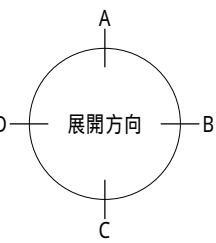
現況 3階平面図 S=1:100



現況 1階平面図 S=1:100

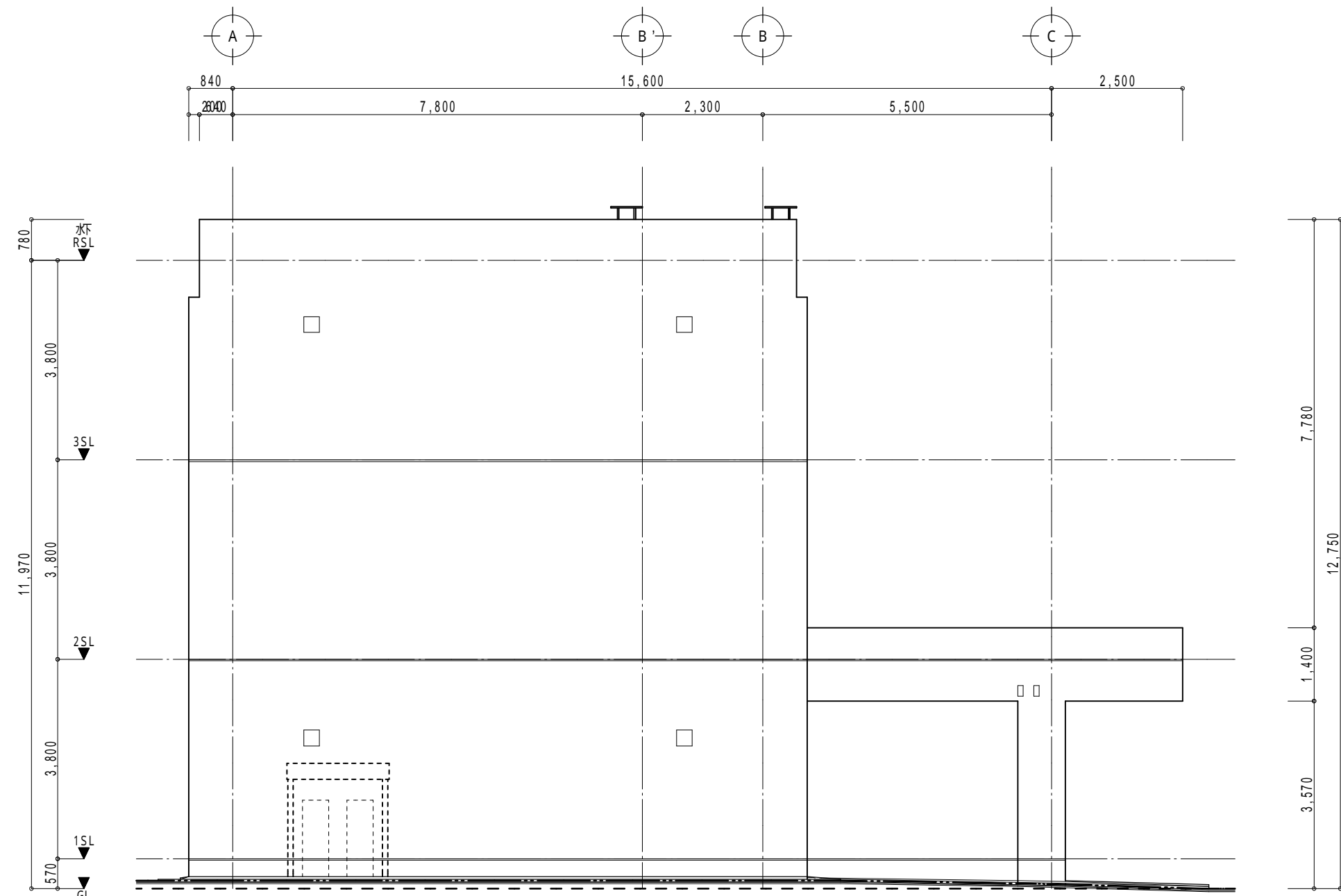


現況 2階平面図 S=1:100





南面立面図 S=1:100



東面立面図 S=1:100

外壁・軒裏・庇・庇受け梁・バラベット先端 改修仕様

既存外壁部等：事前調査 目視・打診による確認 マーキング・計測 図面記入

既存外壁部等 補修

- ・浮き部分：部分エポキシ樹脂注入工法 全ネジ切りステンレスピン16本/m²・30g/穴 程度
- ・ひび割れ0.2mm未満部分：パテ状エポキシ樹脂塗り 幅10mm・厚2mm 程度
- ・ひび割れ0.3～1mm未満部分：1液性弾性エポキシ（OGグラウト） 注入深さ15mm 程度
- ・ひび割れ1mm以上部分：可とう性エポキシ樹脂 10×15mm 程度

既存外壁部等 改修

- ・外壁等 水洗い：高圧ポンプ10～15MPa 程度
- ・外壁等 下地調整塗材：C-1 程度
- ・外壁等 防水形複層塗材E吹付：凸凹模様、吹付、下塗1、増塗1、基層塗2、模様塗1、上塗2、水系ウレタンつやあり 程度

既存サッシ廻り 改修

- ・サッシ：サッシ（枠共）図示ヶ所 撤去・処分 サッシ新設（別図参照）
- ・シーリング：既存シーリング 撤去・処分 新設シーリング 変成シリコーン（MS-2）

既存部 その他 改修

- ・庇及び庇受梁：南面耐震補強部（図示ヶ所） 撤去・処分
- ・飾り桟：既存飾り桟 撤去・処分 新設飾り桟 250×H280×1.0t 105用 SUS304（HLハードコート）
- ・縦樋：既存縦樋VU100 撤去・処分 新設縦樋 100 掴み金物（ステンレス）

ARCH

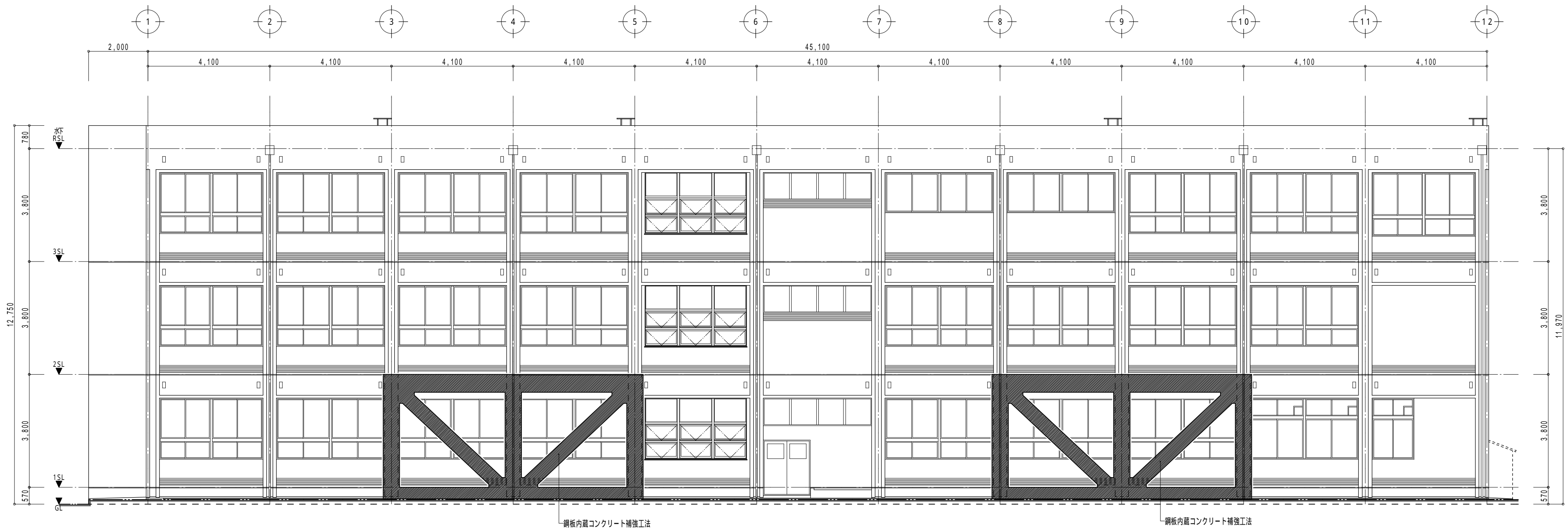
有限会社 アーク設計工房
TEL 0858-47-0058
FAX 0858-47-0068

TITLE 西郷小学校教室・特別教室棟耐震補強（建築主体）工事
現況 立面図（1）

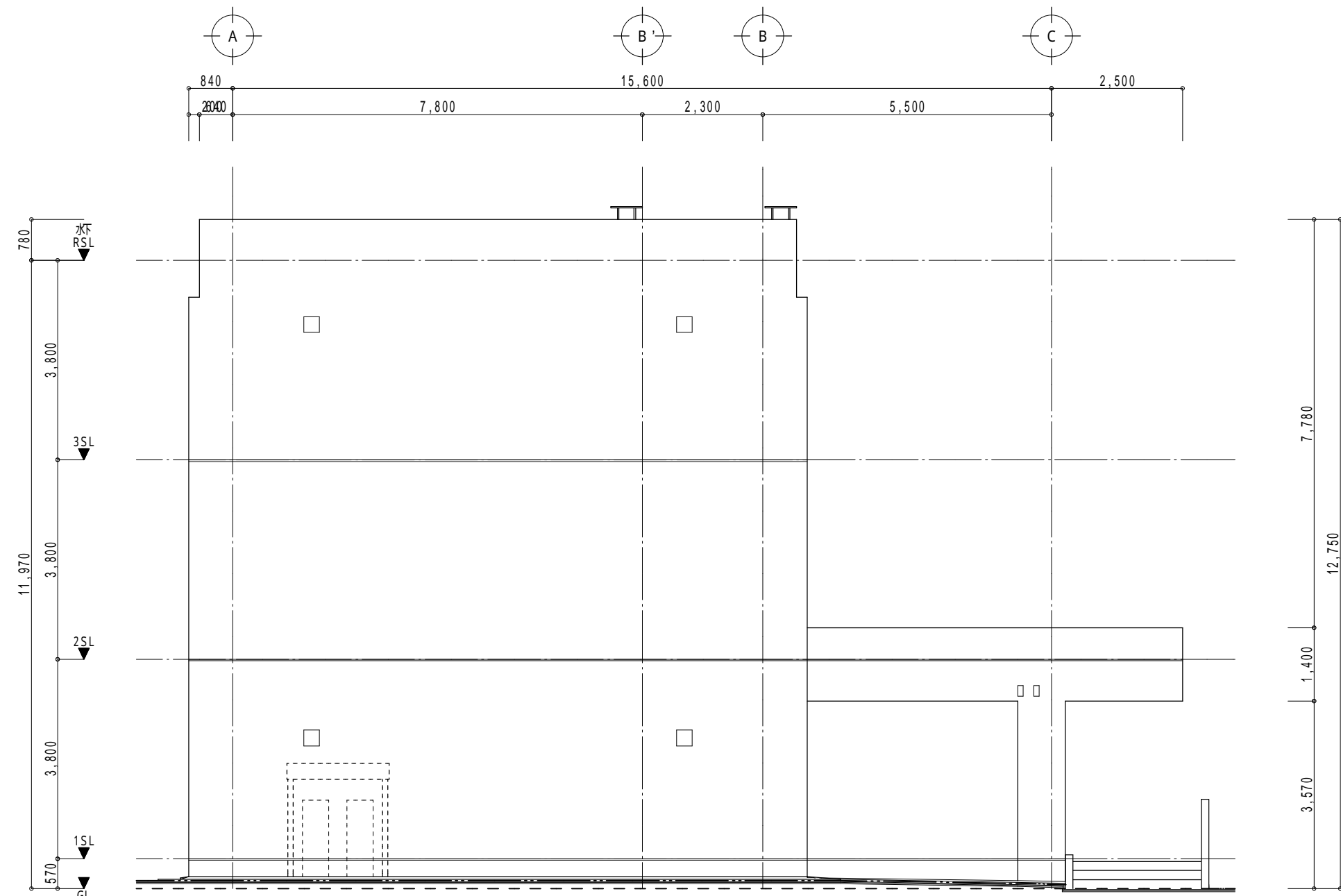
S 1:100

管理建築士 一級建築士 第168668号 藤原 賢治
CHIEF 藤原 賢治
DRAW 藤原 賢治

NO. A - 16
DRAWING NO. 2013.11



南面立面図 S=1:100



東面立面図 S=1:100

外壁・軒裏・庇・庇受け梁・バラベット先端 改修仕様

既存外壁部等：事前調査 目視・打診による確認 マーキング・計測 図面記入

既存外壁部等 補修

- ・浮き部分：部分エポキシ樹脂注入工法 全ネジ切りステンレスピン16本/m²・30g/穴 程度
- ・ひび割れ0.2mm未満部分：パテ状エポキシ樹脂塗り 幅10mm・厚2mm 程度
- ・ひび割れ0.3～1mm未満部分：1液性弾性エポキシ（OGグラウト） 注入深さ15mm 程度
- ・ひび割れ1mm以上部分：可とう性エポキシ樹脂 10×15mm 程度

既存外壁部等 改修

- ・外壁等 水洗い：高圧ポンプ10～15MPa 程度
- ・外壁等 下地調整塗材：C-1 程度
- ・外壁等 防水形複層塗材E吹付：凸凹模様、吹付、下塗1、増塗1、基層塗2、模様塗1、上塗2、水系ウレタンつやあり 程度

既存サッシ廻り 改修

- ・サッシ：サッシ（枠共）図示ヶ所 撤去・処分 サッシ新設（別図参照）
- ・シーリング：既存シーリング 撤去・処分 新設シーリング 変成シリコーン（MS-2）

既存部 その他 改修

- ・庇及び庇受梁：南面耐震補強部（図示ヶ所） 撤去・処分
- ・飾り桟：既存飾り桟 撤去・処分 新設飾り桟 250×H280×1.0t 105用 SUS304（HLハードコート）
- ・縦樋：既存縦樋VU100 撤去・処分 新設縦樋 100 掴み金物（ステンレス）

ARCH

有限会社 アーク設計工房
TEL 0858-47-0058
FAX 0858-47-0068

TITLE 西郷小学校教室・特別教室棟耐震補強（建築主体）工事
改修後 立面図（1）

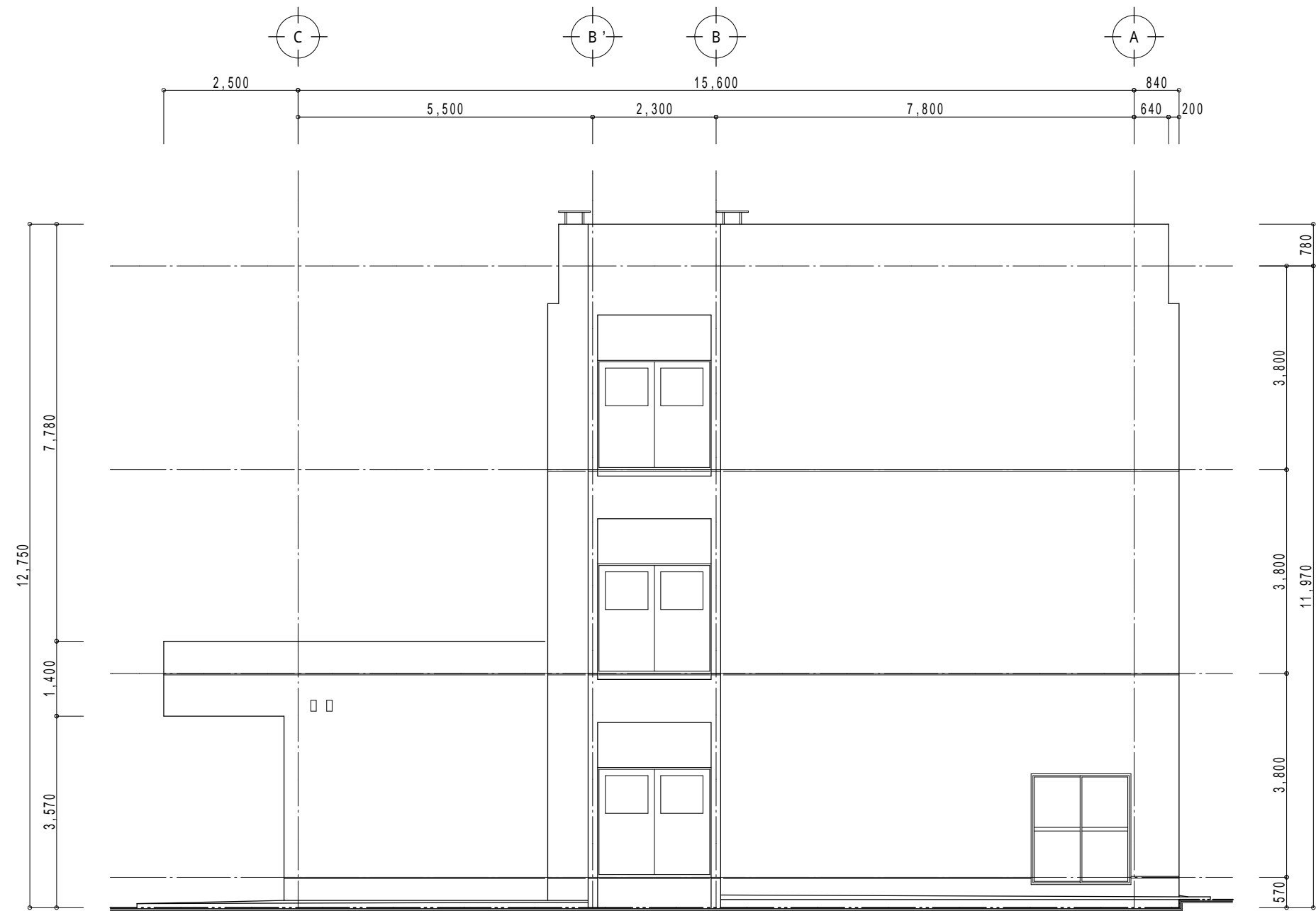
S 1:100

管理建築士 一級建築士 第168668号 藤原 賢治
CHIEF 藤原 賢治
DRAW 藤原 賢治

NO. A - 17
DRAWING NO. 2013.11



北面立面図 S=1:100



西面立面図 S=1:100

外壁・軒裏・庇・庇受け梁・バラベット先端 改修仕様

既存外壁部等：事前調査 目視・打診による確認 マーキング・計測 図面記入

既存外壁部等 補修

- ・浮き部分：部分エポキシ樹脂注入工法 全ネジ切りステンレスピン16本/m²・30g/穴 程度
- ・ひび割れ0.2mm未満部分：パテ状エポキシ樹脂塗り 幅10mm・厚2mm 程度
- ・ひび割れ0.3～1mm未満部分：1液性弾性エポキシ（OGグラウト） 注入深さ15mm 程度
- ・ひび割れ1mm以上部分：可とう性エポキシ樹脂 10×15mm 程度

既存外壁部等 改修

- ・外壁等 水洗い：高圧ポンプ10～15MPa 程度
- ・外壁等 下地調整塗材：C-1 程度
- ・外壁等 防水形複層塗材E吹付：凸凹模様、吹付、下塗1、増塗1、基層塗2、模様塗1、上塗2、水系ウレタンつやあり 程度

既存サッシ廻り 改修

- ・サッシ：サッシ（枠共）図示ヶ所 撤去・処分 サッシ新設（別図参照）
- ・シーリング：既存シーリング 撤去・処分 新設シーリング 変成シリコン（MS-2）

既存部 その他 改修

- ・庇及び庇受梁：南面耐震補強部（図示ヶ所） 撤去・処分
- ・飾り桤：既存飾り桤 撤去・処分 新設飾り桤 250×H280×1.0t 105用 SUS304（HLハードコート）
- ・縦樋：既存縦樋VU100 撤去・処分 新設縦樋 100 掴み金物（ステンレス）

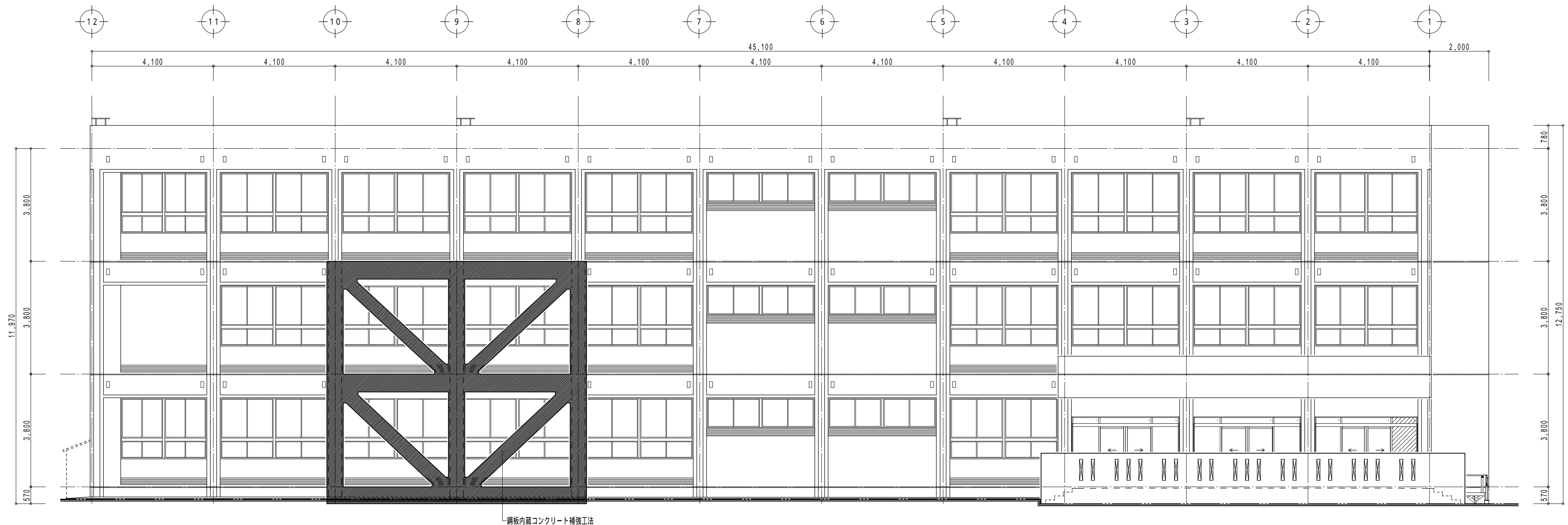
ARCH

有限会社 アーク設計工房
TEL 0858-47-0058
FAX 0858-47-0068

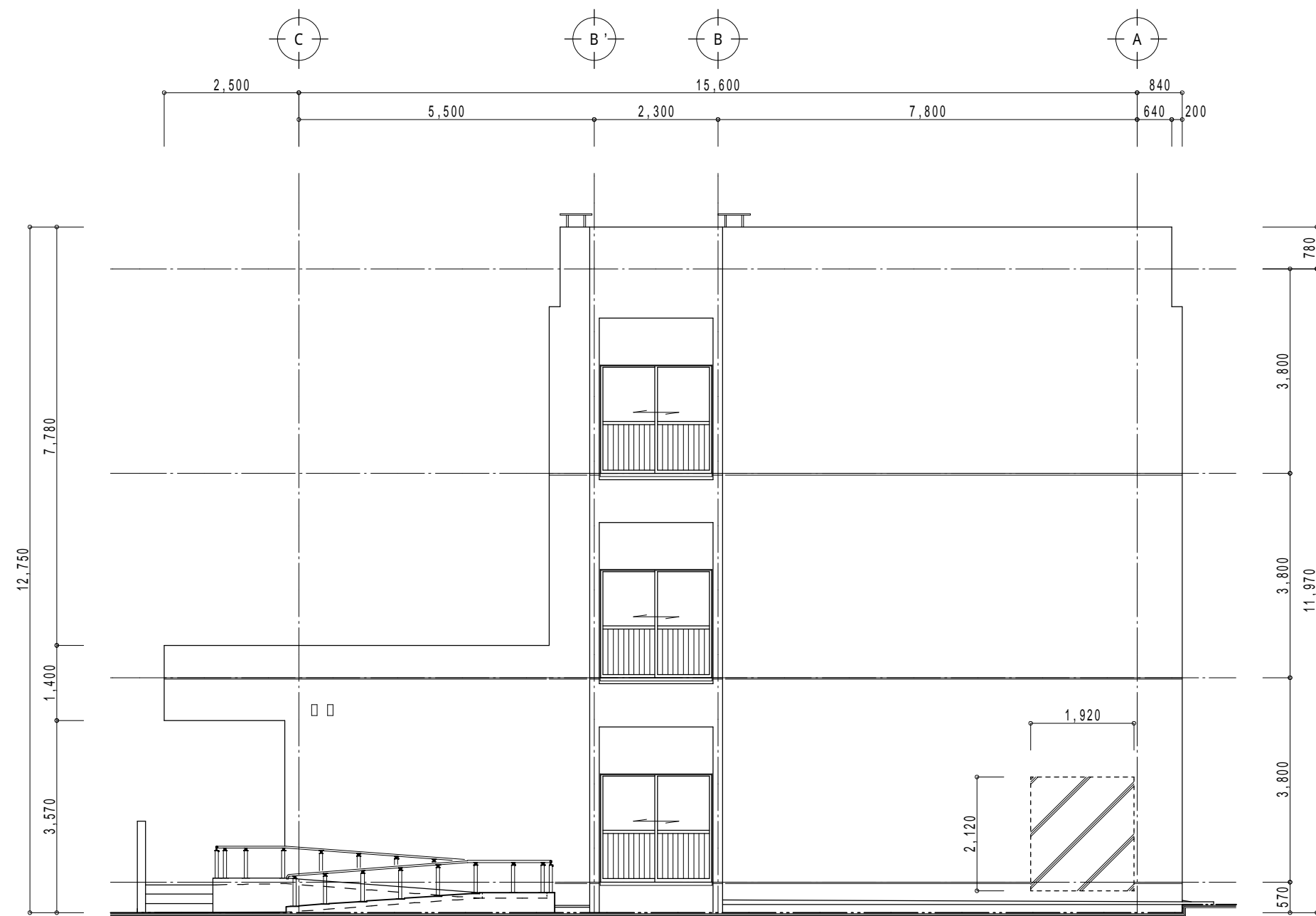
TITLE 西郷小学校教室・特別教室棟耐震補強（建築主体）工事
現況 立面図（2）
S 1:100

管理建築士 一級建築士 第168668号 藤原 賢治
CHIEF 藤原 賢治
DRAW 藤原 賢治

NO. A-18
DRAWING NO. 2013.11



北面立面図 S=1:100



西面立面図 S=1:100

外壁・軒裏・庇・庇受け梁・バラベット先端 改修仕様

既存外壁部等：事前調査 目視・打診による確認 マーキング・計測 図面記入

既存外壁部等 補修

- ・浮き部分：部分エポキシ樹脂注入工法 全ネジ切りステンレスピン16本/m²・30g/穴 程度
- ・ひび割れ0.2mm未満部分：パテ状エポキシ樹脂塗り 幅10mm・厚2mm 程度
- ・ひび割れ0.3～1mm未満部分：1液性弾性エポキシ（OGグラウト） 注入深さ15mm 程度
- ・ひび割れ1mm以上部分：可とう性エポキシ樹脂 10×15mm 程度

既存外壁部等 改修

- ・外壁等 水洗い：高圧ポンプ10～15MPa 程度
- ・外壁等 下地調整塗材：C-1 程度
- ・外壁等 防水形複層塗材E吹付：凸凹模様、吹付、下塗1、増塗1、基層塗2、模様塗1、上塗2、水系ウレタンつやあり 程度

既存サッシ廻り 改修

- ・サッシ：サッシ（枠共）図示ヶ所 撤去・処分 サッシ新設（別図参照）
- ・シーリング：既存シーリング 撤去・処分 新設シーリング 変成シリコーン（MS-2）

既存部 その他 改修

- ・庇及び庇受梁：南面耐震補強部（図示ヶ所） 撤去・処分
- ・飾り桧：既存飾り桧 撤去・処分 新設飾り桧 250×H280×1.0t 105用 SUS304（HLハードコート）
- ・竖樋：既存竖樋VU100 撤去・処分 新設竖樋 100 掴み金物（ステンレス）

ARCH

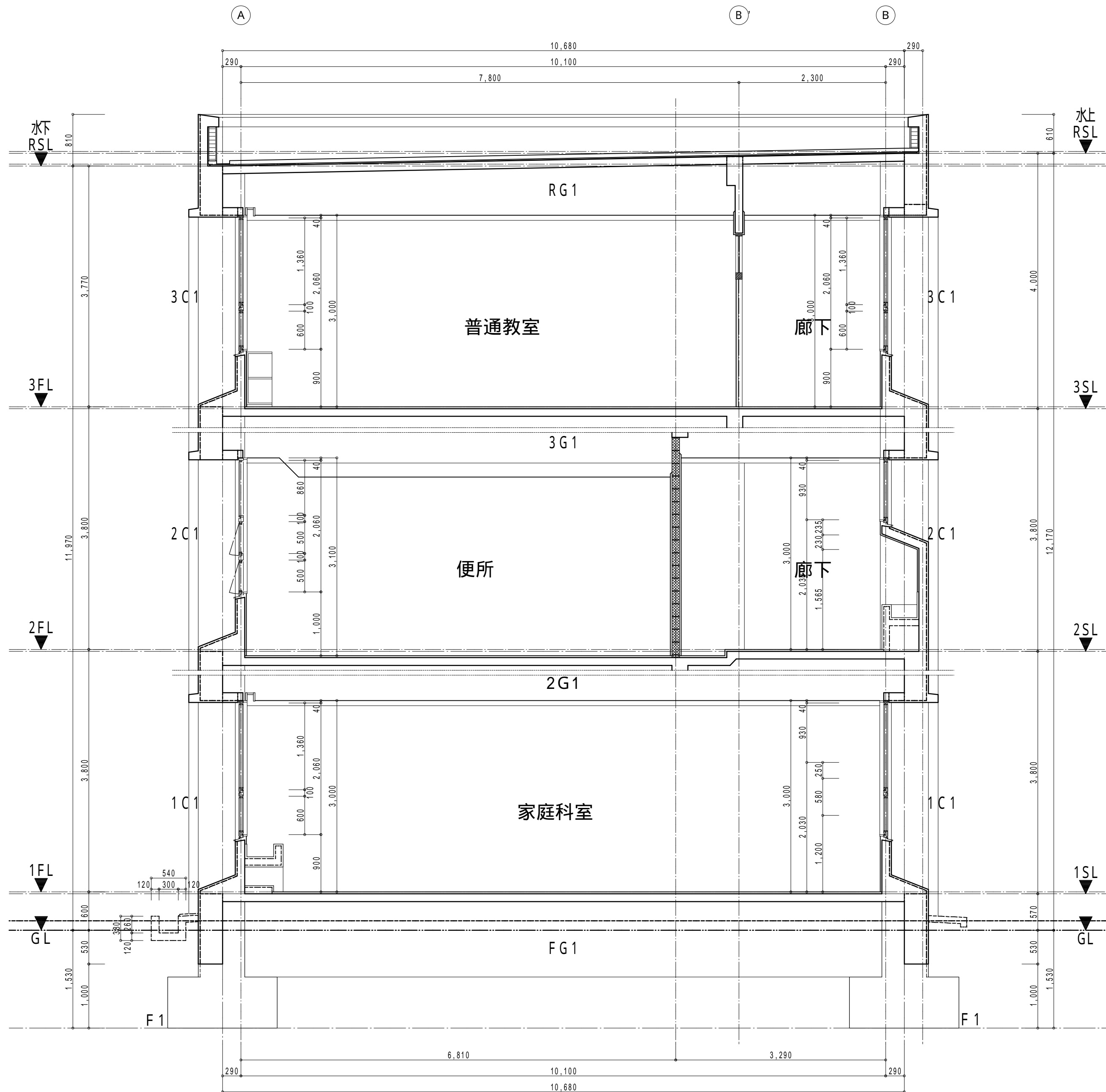
有限会社 アーク設計工房
TEL 0858-47-0058
FAX 0858-47-0068

TITLE 西郷小学校教室・特別教室棟耐震補強（建築主体）工事
改修後 立面図（2）

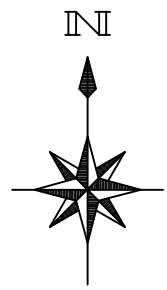
S 1:100

管理建築士 一級建築士 第168668号 藤原 賢治
CHIEF 藤原 賢治
DRAW 藤原 賢治

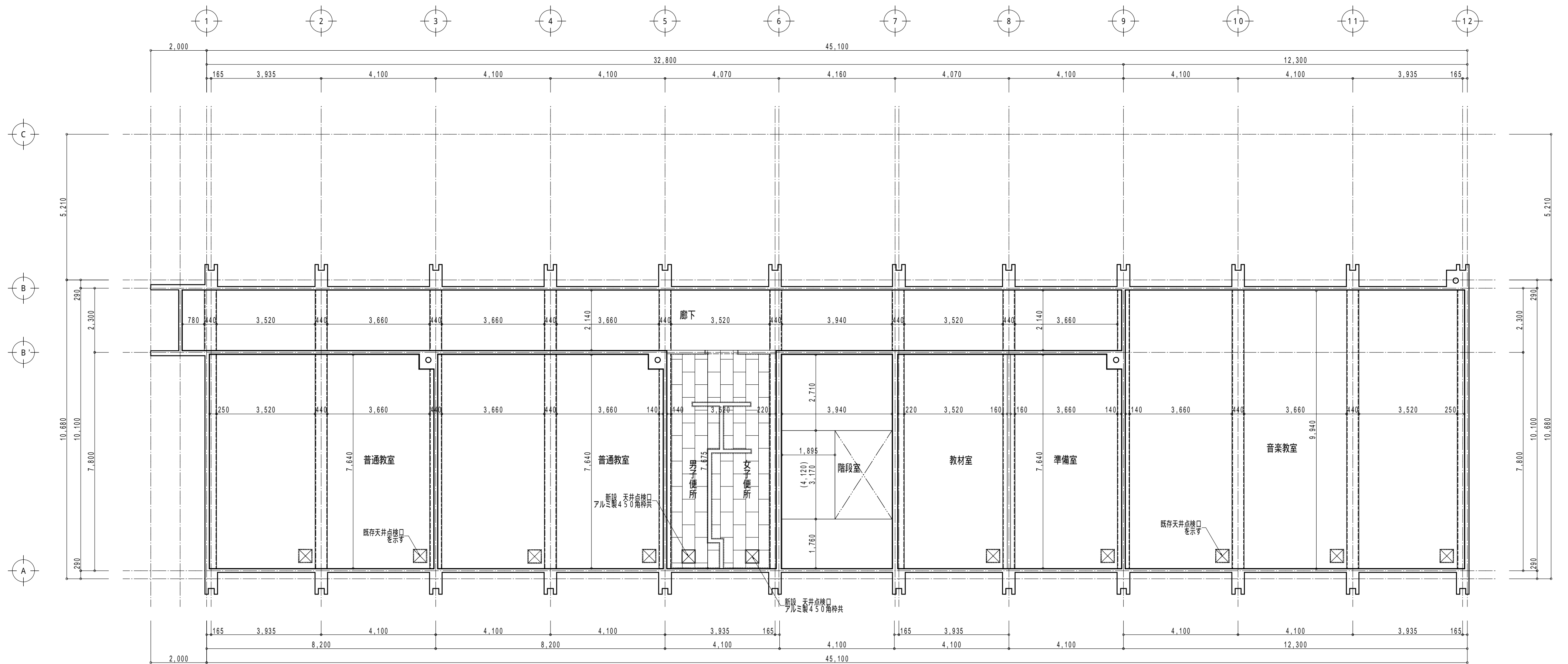
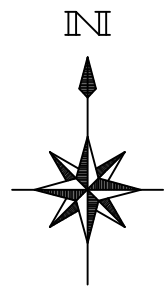
NO. A - 19
DRAWING NO. 2013.11



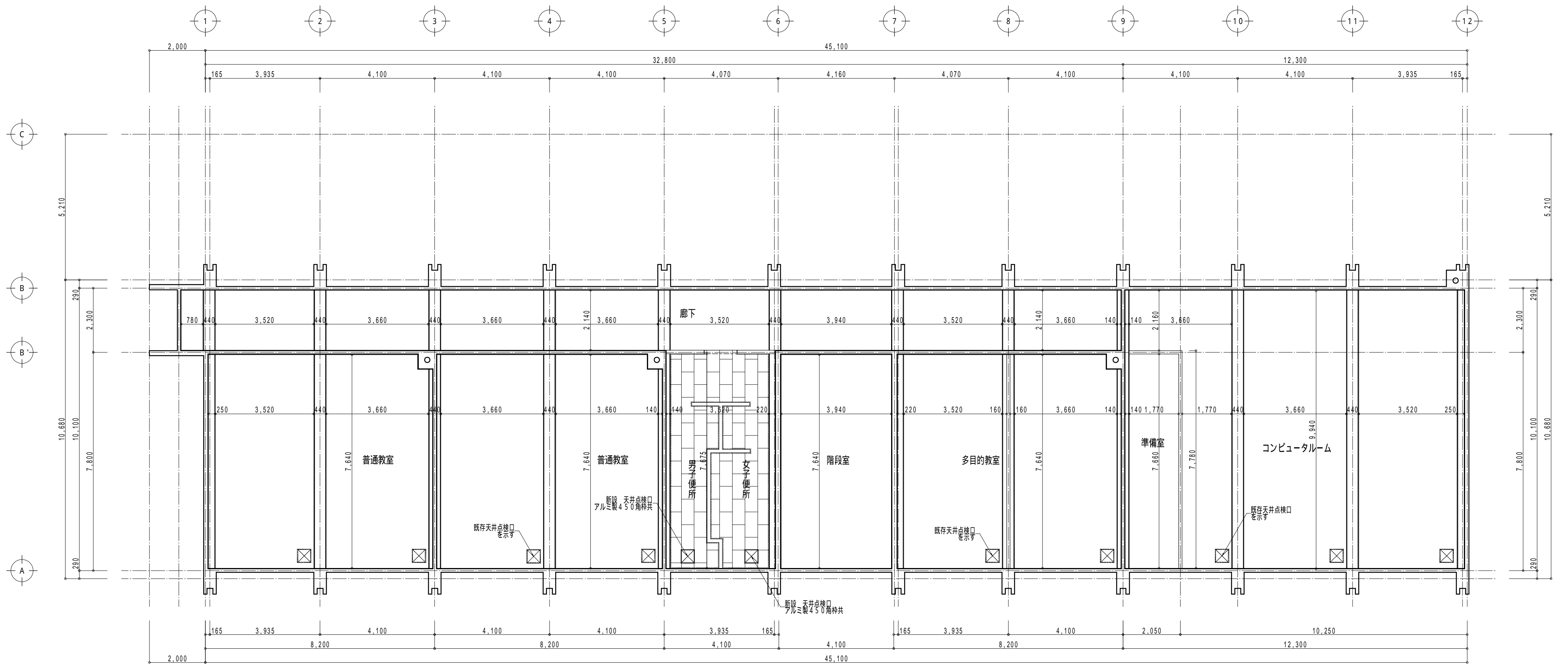
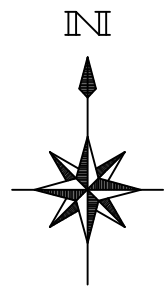
現況 矩 計 図 S=1:50



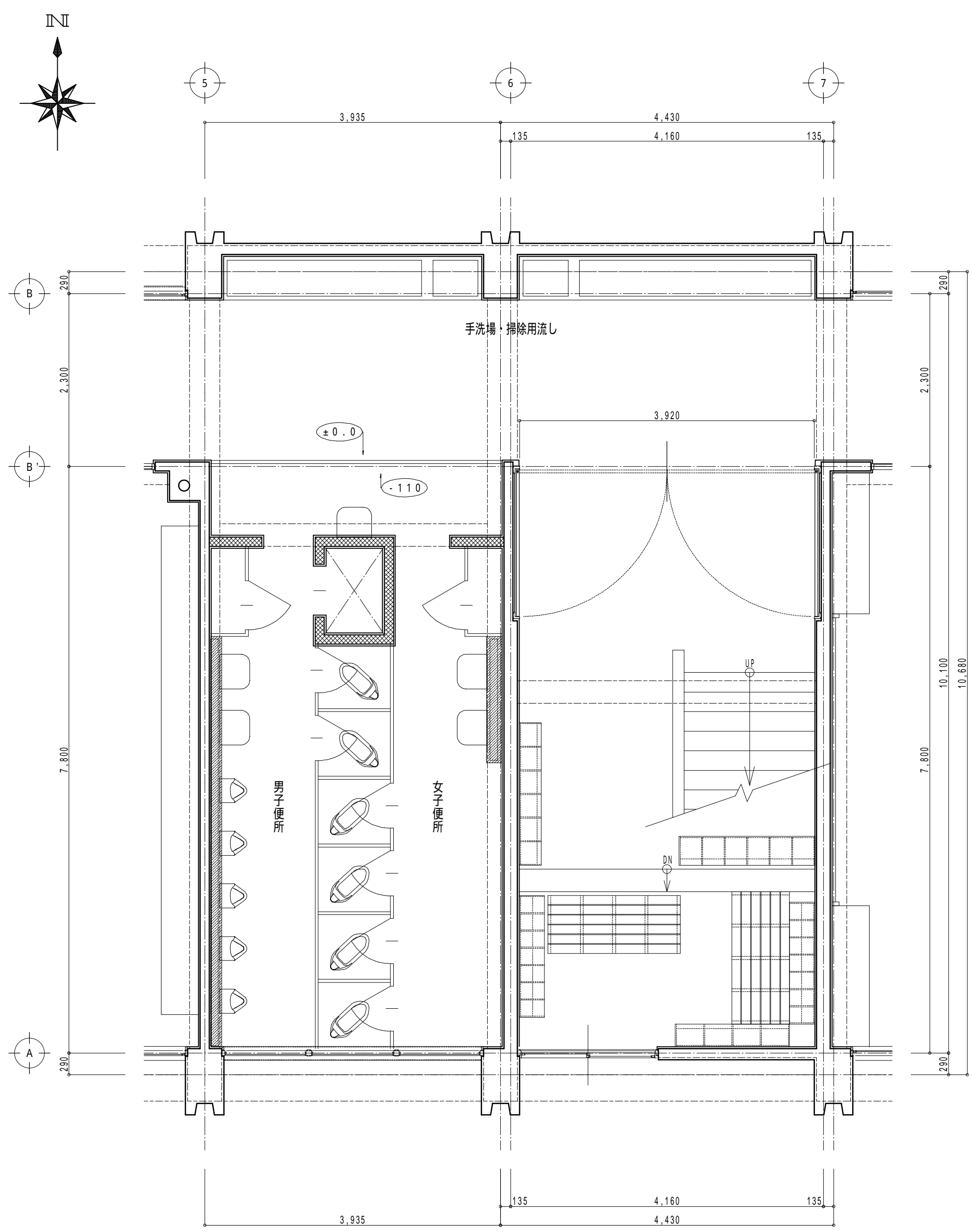
改修後 1階天井伏図 S=1:100



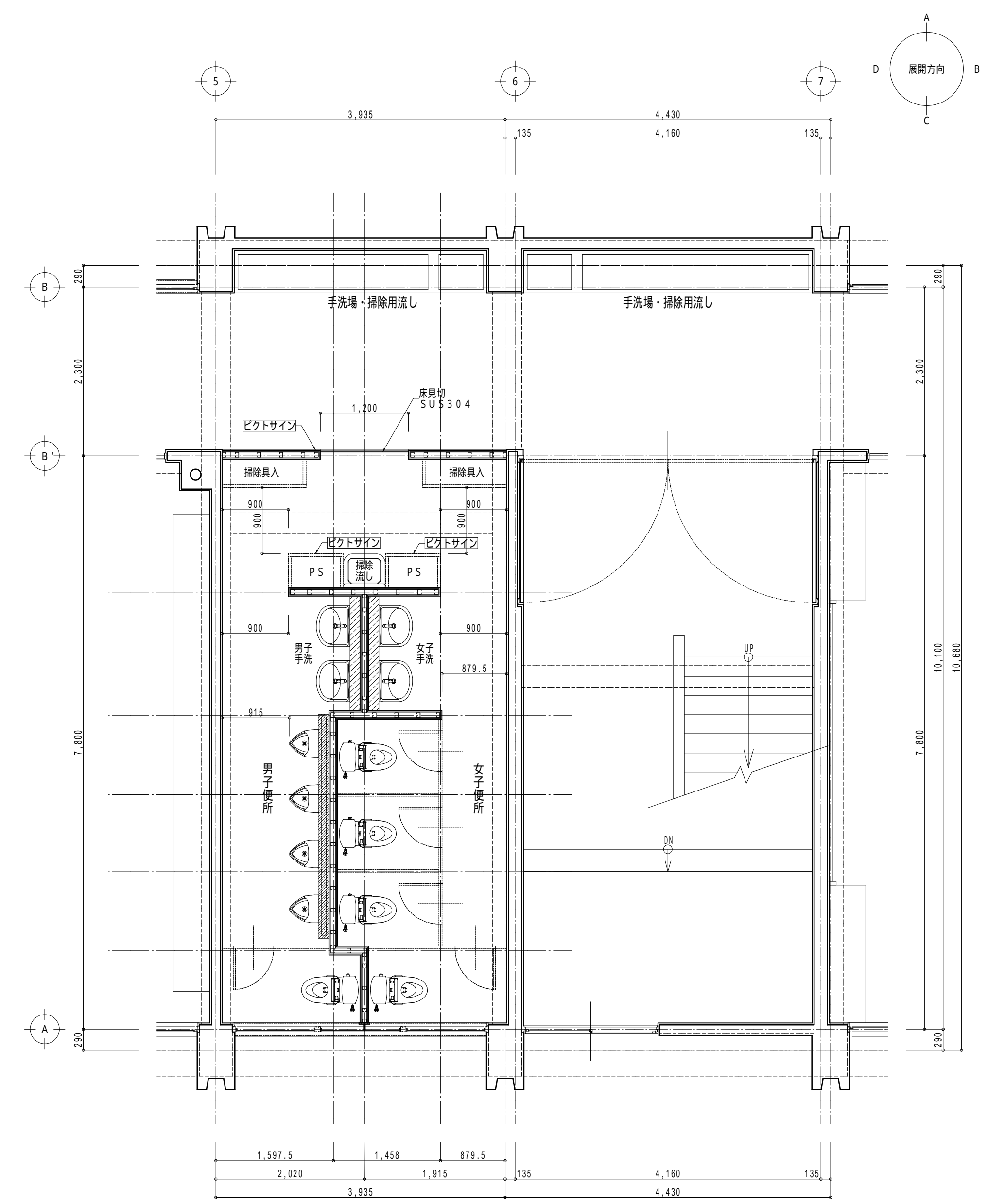
改修後 2階天井伏図 S=1:100



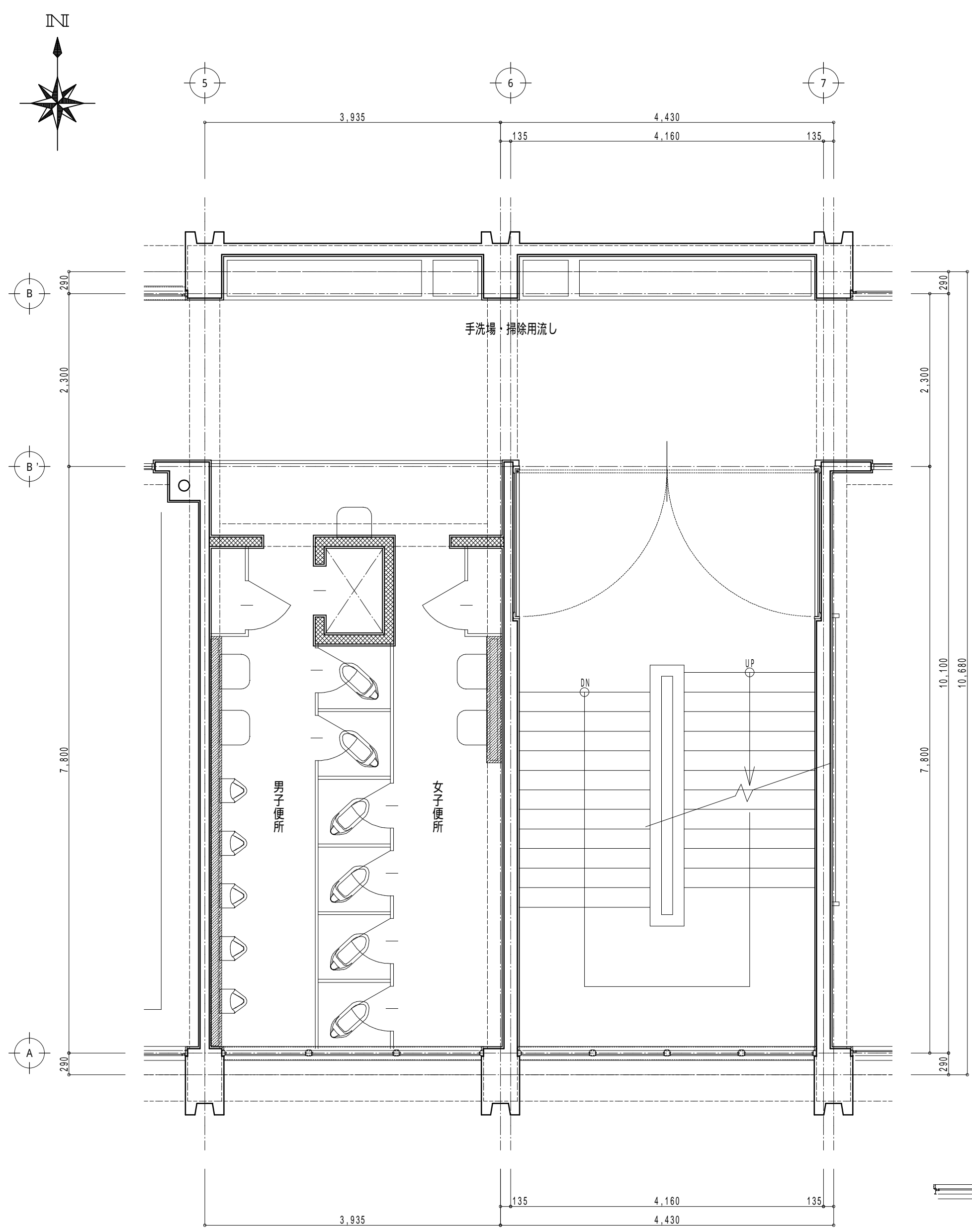
改修後 3階天井伏図 S=1:100



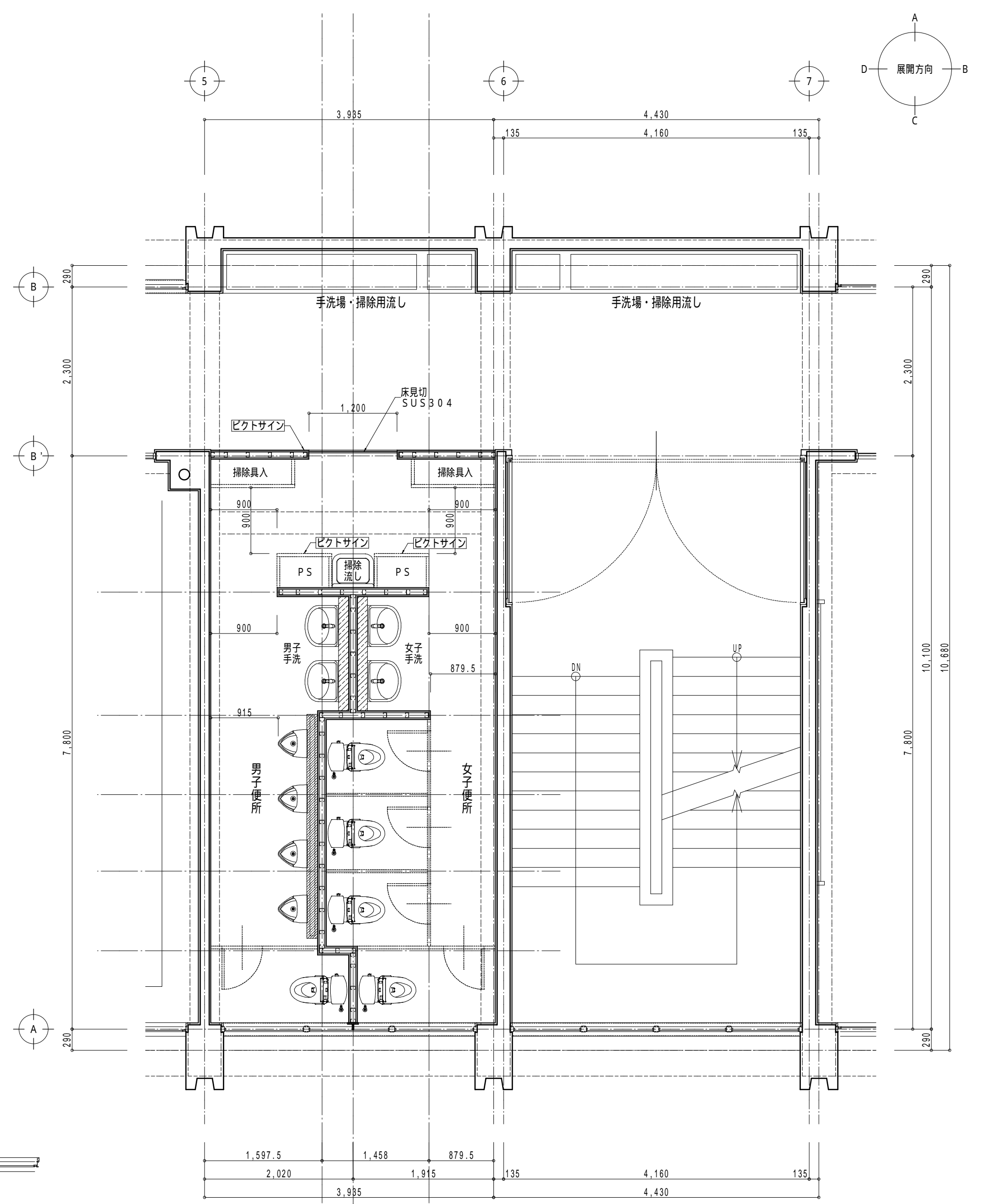
現況 1階便所廻り平面詳細図 S=1:100



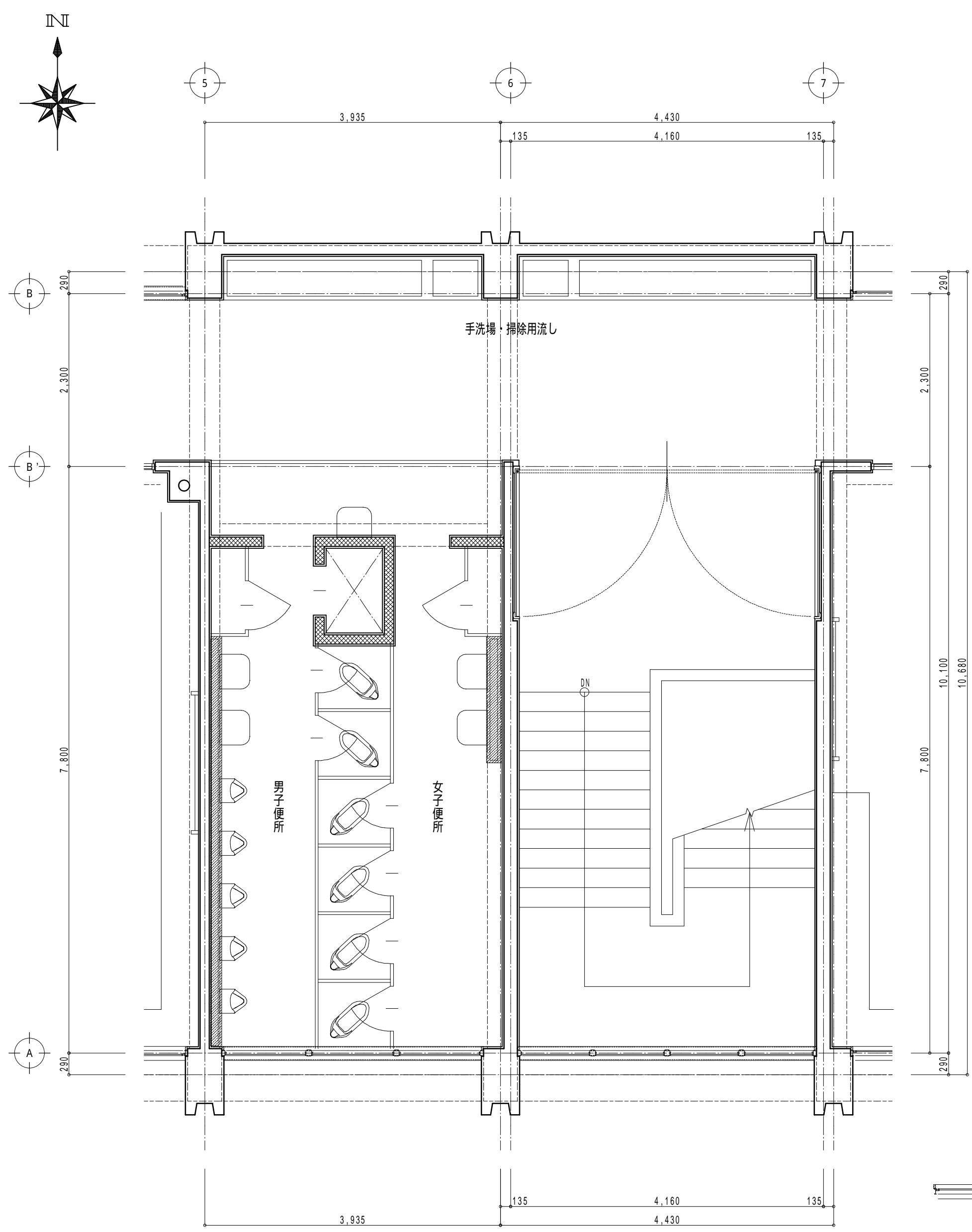
改修後 1階便所廻り平面詳細図 S=1:100



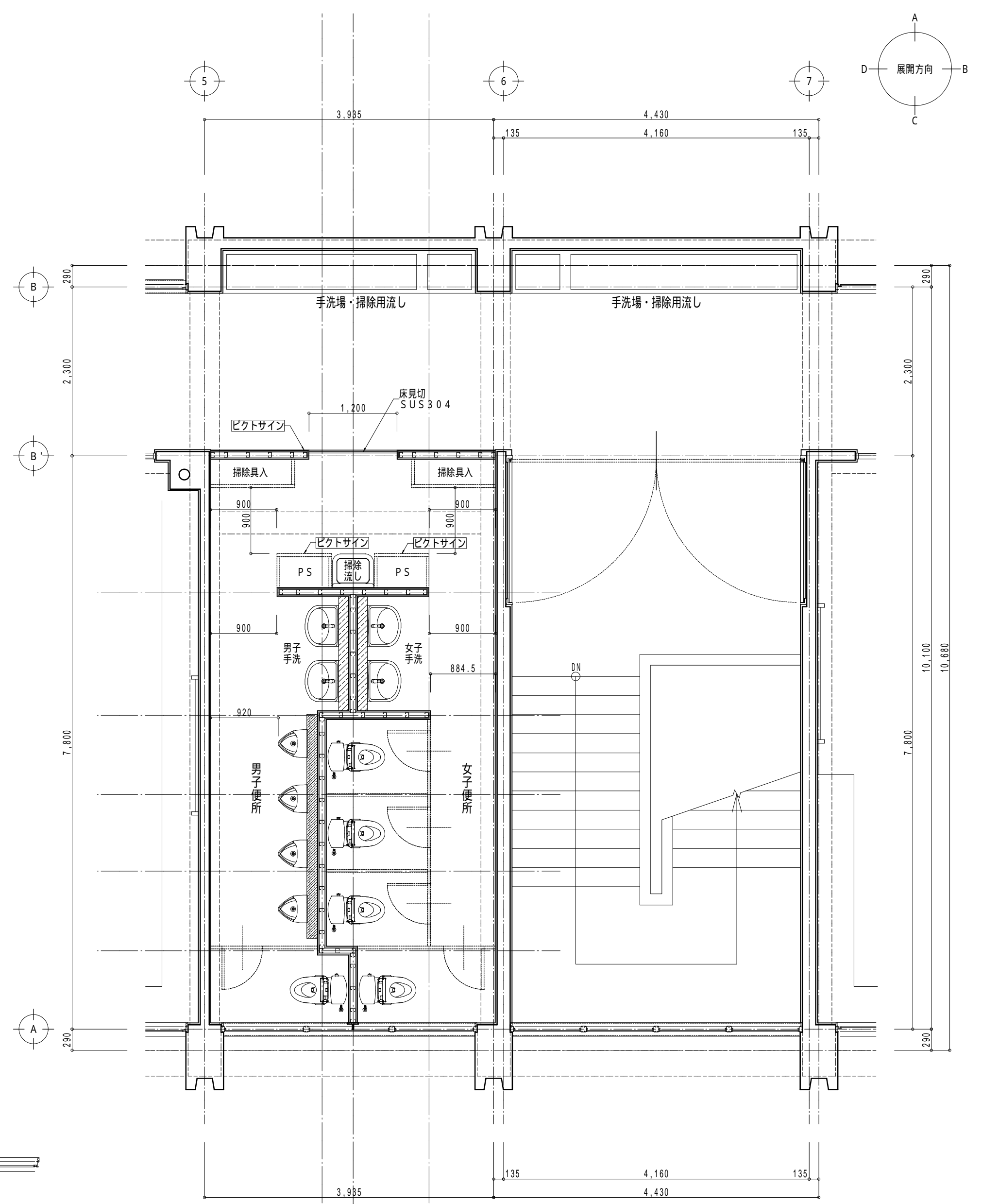
現況 2階便所廻り平面詳細図 S=1:100



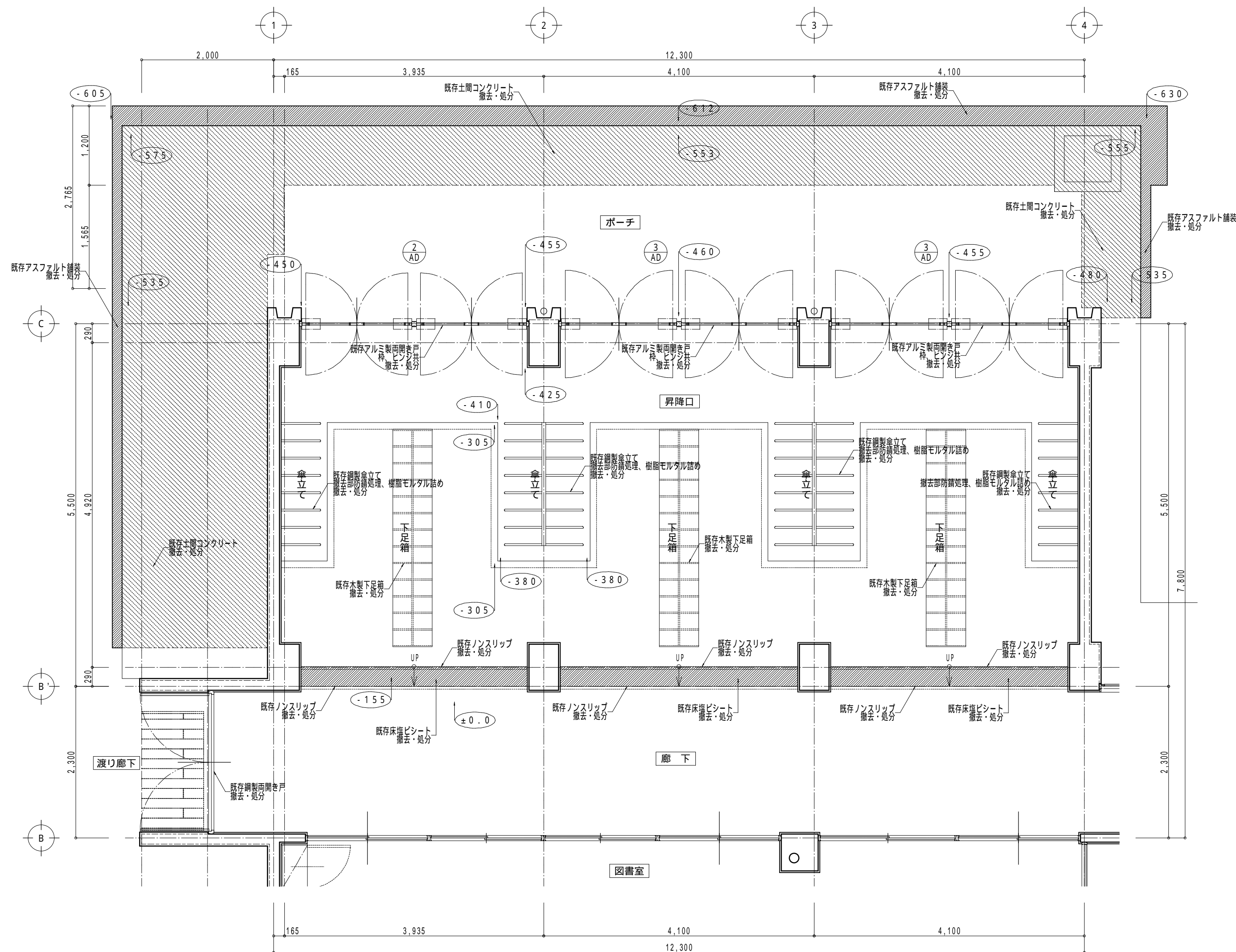
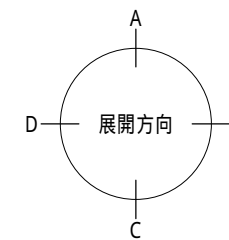
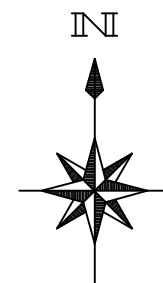
改修後 2階便所廻り平面詳細図 S=1:100



現況 3階便所廻り平面詳細図 S=1:100



改修後 3階便所廻り平面詳細図 S=1:100



現況 1階昇降口平面詳細図 S=1:50